

会長のページ 日本の予防接種制度の問題点とVPD	稲倉 正孝	3
日州医談 産業保健活動の現状とこれから	矢野 裕士	4
随 筆 台湾旅行	鮫島 哲也	6
寄 稿 東日本大震災の活動報告	鹿島 哲	10
エコー・リレー(434)	石原 史朗, 米澤 勤	17
メディアの目	小堀 正貴	20
国公立病院だより(済生会日向病院)	柏田 章二	24
宮崎大学医学部だより(生殖発達医学講座小児科学分野)	盛武 浩	26
専門分科医会だより(眼科医会)	柴田 博	27
ニューメンバー	三嶋 和也, 児玉由紀子	53
診療メモ 宮崎県の難聴児支援対策 - 難聴児の早期発見と早期療育事業について -	牛迫 泰明	74

宮崎県感染症発生動向	18
あなたできますか?(平成 22年度医師国家試験問題より)	21
各都市医師会だより	22
薬事情報センターだより(293) 新薬紹介(その 50)	28
各種委員会(医学会誌編集委員会)	29
平成 23年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会	30
第 55回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 23年度学校検診協議会(年次大会)	34
職員紹介(その 5) (医師国民健康保険組合, 医師協同組合・(有)エム・エム・エス・シー, 経理課)	38
日医 FAX ニュースから	40
医師国保組合だより	42
ベストセラー	47
理事会日誌	48
県医の動き	52
会員の異動・変更報告	54
ドクターバンク情報	55
行 事 予 定	59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	61
宮大医学部学生のページ(第 7 回清花祭)	76
あ と が き	80
~~~~~	
お知らせ クールビズについて	5
日州医事投稿についてのお知らせ	9
宮崎県医師会勤務医住宅ローンの融資利率改定について	16
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	25
平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	29
「新春随想」原稿募集	37
宮崎県ドクターズテニス大会( 都城 )開催のお知らせ	73
郡市医師会への送付文書	78

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 油絵〕

### 記憶の旋律

試練というにはあまりにも過酷な災害の連続。地球という舟の警鐘なのでしょうか。

母船と共に生きる術や業を再考しなければ先に待ち受けているのは沈没しかありません。

かすかな未来の光に向かって顔を上げ、英知を結集し、多くの生き物の代表として力を尽くさなければ。そして私達は祈ります。

西都市 あん どう 安 藤 のぶ 宣

## 会長のページ

## 日本の予防接種制度の問題点と VPD

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 23 年 6 月 16 日、日本小児科学会五十嵐隆会長名で、細川律夫厚生労働大臣(当時)宛にワクチン接種に関する 2 通の要望書が提出された。

1 つは、小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含むワクチン同時接種後の死亡例 4 例が平成 23 年 3 月 2 日から 4 日までの間に報告されたのを受け、3 月 4 日より 3 月 31 日まで両ワクチンの接種が厚生労働省の指示によって一時中止となった。一時中止の継続あるいは再開を巡っての議論の結果、両ワクチンと死亡例との直接の因果関係は認められないとされ、またワクチンの同時接種についても安全性に問題はないと判断された。しかし、両ワクチンの接種再開後の添付文書に、両ワクチンの同時接種について抑制的な追記がなされた件についてである。予防接種の中止、あるいは添付文書への記載は、医療現場に与える影響は極めて大

きいので、国内の予防接種の専門家等の意見を聞くなどして決定していただきたい。また、科学的な議論をするために必要な乳幼児の死亡率、乳幼児突然死症候群の発生率、ワクチンの有害事象及び副作用等のデータを国レベルで継続的にモニタリングを行ってほしいとの要望であった。

もう 1 つは、不活化ワクチンの筋肉内注射の添付文書への記載の追記である。1970 年代に解熱剤、抗菌薬の筋肉内注射による約 3,600 名の大腿四頭筋拘縮症の患者の報告があり、日本の予防接種は原則皮下接種となっている。しかし、筋肉内注射によるワクチン接種は皮下注射に比べて、

1. 局所反応(発赤、腫脹、疼痛)が少ない。
2. 免疫原性(抗体のつきやすさ)は同等であるか、それ以上と報告されている。

現在、海外では生ワクチンを除くほとんどのワクチンは、原則筋肉内注射で行われている。複数のワクチンを同時接種する際、複合ワクチン(複数のワクチンを 1 本にしたもの)、アジュバント入りのワクチン(ヒトパピローマウイルスワクチンなど)はその局所反応を減らすために筋肉内注射がその標準的投与方法である。2 種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種は、特に接種するワクチンの数が多く、接種部位の限られている乳幼児期において接種率を上げるためには、皮下接種に加えて筋肉内注射も可能とする添付文書への記載の要望である。

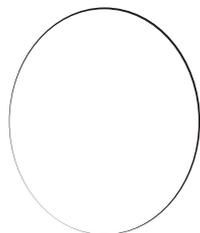
日本では、欧米に比べて予防接種制度の遅れから、多くの子どもがワクチンで防げる病気(VPD = Vaccine Preventable Disease)で健康と命を損ねている事実を国民の大多数は知らない。日本の予防接種制度の遅れの大きな要因として、

1. 国の責任者に VPD から国民を守る“political will”が欠如している。
2. 危機管理体制の不備。
3. 厚労省がなすべきことをしていない。
4. ワクチンの副作用問題に対する司法及びマスコミの間違った考え方及びネガティブ報道。
5. 欧米の先進国に比べて、定期接種できるワクチンが少ない(日本 8 種類、米国 16 種類更に混合ワクチンの使用)。

等が指摘されている。

日本小児科学会は、日本の子ども達を VPD から確実に守るためには必要なワクチンを適切な時期に適切な回数接種することが重要であり、そのためには同時接種を一般的な医療行為として行っていく必要があるとしている。なお、同時接種については、複数のワクチンを同時に接種してもそれぞれのワクチンに対する有効性についてはお互いのワクチンによる干渉はなく(コレラ + 黄熱ワクチンでは効果減少)、有害事象、副反応の頻度が上がることはないとされている。VPD から国民の生命及び健康を守るため、国及び地方自治体は適切で早急な対応を求められている。(平成 23 年 9 月 26 日)

## 日州医談



## 産業保健活動の現状とこれから

理事 矢野 裕士

宮崎県医師会では日医認定産業医制度事業を積極的に推進しており、産業医研修会の開催を通して、認定産業医の更新手続き、ならびに新規申請手続きを進めています。本県の認定産業医数は年々増加しており、本年9月現在で480名となっています。また、今年度の産業医研修会については、日医のモデル事業としてテレビ会議システムを利用し、県医師会館を主会場として、都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸の各医師会館と高千穂町国保病院でも受講できるようになり、会員の皆様の受講の機会が広がったものと思います。

現在の産業保健を取り巻く諸問題のうち、やはりメンタルヘルスの重要性が増しています。厚労省はメンタルヘルスの処置を受けられる職場の割合を2020年までに100%にすることを目標として、ストレスを有する労働者に対して医師による面接指導制度を導入することを提言しており、過重労働対策の推進と併せて、重点化した予算要求を行っています。現状では50人以上の事業場を管轄している各都道府県の産業保健推進センターの中に、メンタルヘルス対策支援センターを設置しており、メンタルヘルス不調の予防から復職まで総合的に支援して、地域における職場のメンタルヘルス対策の中核的機関を目指しています。また、50人以下の小規模事業場を対象としている地域産業保健センター事業の役割としては、健康相談窓口の設置、個別

訪問、個別健康相談窓口の設置、産業保健指導、健康保健指導などが挙げられ、メンタルヘルス対策についても、法案改正を交え新たな枠組みとして検討が重ねられています。

しかしながら、昨年の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、産業保健推進センターに対して「平成25年度までに1/3縮減に囚われないさらなる削減を求める」との方針が示され、事業の効率化における厳しい指導を受けており、既に今年度から6県の産業保健推進センターが廃止されています。本県の推進センターも例外ではなく、今後廃止され、駐在員のみが配置されるのではと危惧されています。

また、地域産業保健事業については、昨年度より、これまでの労働基準監督署単位(全国347か所)の契約から、都道府県単位の契約へ事業変更されました。本県ではこれまで、宮崎市郡医師会(宮崎中部地産保)、都城市北諸県郡医師会(都城・西諸地産保)、延岡市医師会(宮崎県北地産保)、南那珂医師会(南那珂地産保)の県内4か所において、それぞれの郡市医師会がコーディネータを配置して、産業医や保健師等との連絡体制を構築し、限られた予算と制約の中、順調かつ適切に運営されておりました。しかし平成22年4月からは、4郡市医師会と協議を行い、本会が受託団体として宮崎労働局と委託契約を締結し、事業については従来どおり4郡市医師会で実施することとなりました。委託費につい

では、「委託事務処理マニュアル」により使用範囲が限られていたものが、今年度から受託者側で規定を整備すれば、それに基づいて柔軟に運用できることとなりました。但し、本年度の委託費は各県とも減額されており、本県については14%減で、今後とも厳しい運営であることに変わりありません。

一方、国は産業保健事業自体の必要性、重要性について一定の理解を示しており、行政施策として、衛生委員会などの調査審議事項に、メンタルヘルス対策の樹立に関する項目が追加され、長時間労働者に対する医師による面接指導制度の導入(面接指導の際にメンタルヘルス面のチェックを実施)等を実施していくことになっており、来年度はメンタルヘルス対策支援センターへの予算配分が増えるのではないかと予想されています。

現在、地域産業保健センターで対応している項目としては、「メンタルヘルスに関連する症状・不調に関する相談」「健診結果に対する内容説明」などであり、「緊急性の乏しい身体症状・不調に対する相談・指導」については、相談者それぞれのかかりつけ医療機関にお願いすることとしています。事業者のニーズとしては、「健診結果に基づく意見聴取への対応」「メンタル不調の疑いのある労働者への指導」「長時間労働者に対する

面接指導」「健診結果に対する保健指導」などが主なものですが、さらにこれらに加え、今年度からは、「事業場内における作業管理などについての相談・助言」「職場におけるメンタルヘルス対策についての相談・助言」などについて、メンタル支援センターを設置している産業保健推進センターで対応するとしています。メンタルヘルスに関しては、今後も引き続き注目すべき課題であり、事業場規模や雇用者・雇用主に限らず労働者から求められる対策は急務であると考えます。

以上のように、地域産業保健事業の見直しおよび産業保健推進センターの縮減等の動きから、より効果的、効率的な産業保健活動が求められていると考えられます。また、厚労省の「産業保健への支援の在り方に関する検討会」では、産業保健推進センター、メンタルヘルス対策支援センター、地域産業保健センターによる混交した事業を効果的に実施するため、これらの事業の調整機能が設置されることが必要であるとの見解が示されています。従いまして、県医師会としての今後の産業保健活動としては、上記3センターの活動を統括していくような役割を担うべく取組んでいかなければならないと思われま

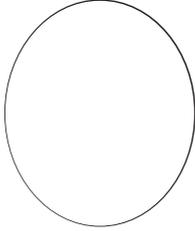
## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成23年5月1日より平成23年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 随 筆

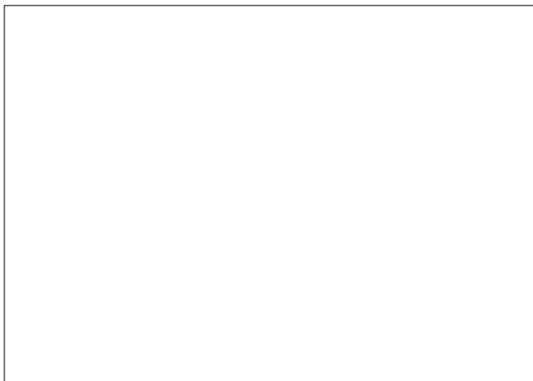


## 台湾旅行

台湾では年初から花博覧会が開催されているとの事で、国際ロータリーで私と同期のガバナーだった頼崇賢氏から御招待をうけましたのでクラブ会員に声を掛けました所、20名余も同行希望者が集まりましたため折から東日本大震災による自粛ムードの最中^{さなか}多少の躊躇^{ためら}いもありましたが、国際親善を理由に敢えて決行する事に致しました。ご案内の通り此の所は宮崎 - 台北の直行便が飛んでおりますから、私共の当初の計画ではそれを利用する筈でしたのに、例の新燃岳噴火の印象が生々しいためか？台湾からの来県客が皆無との事で往復共に羽田経由を余儀なくされましたが「出来たばかりの国際線の見学も一興」という事に致しました。

羽田国際空港にて

私は年に何度か上京する機会があっても新装成った羽田国際空港はモノレールで素通りするだけでしたから「一度は中を見たい」と興味津々でしたが、成田を小振りにした感じで、さして



日本とは暫しのお別れ

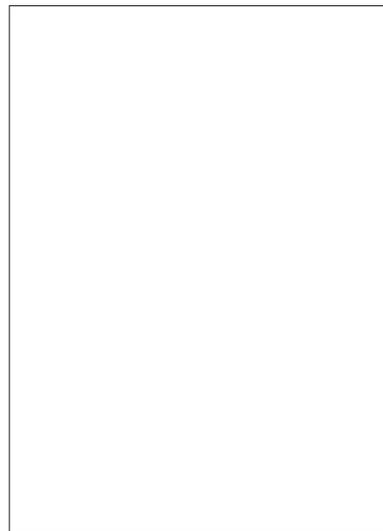
日向市 鮫島病院 ^{さめ} 鮫 ^{しま} 島 ^{てつ} 哲 ^や 也

変わりばえはない。

震災の影響か？閑散としておりましたから二階のショッピングモールや食堂街をゆったりと散策したあと私共夫妻は蕎麦屋で昼食を摂りましたが、食後も暫く時間を潰すつもりでおりました所、店員さんが「お手元を広く致しましょうか」と言って食器を下げましたので「全てマニュアルの此の御時世に奥ゆかしい物言いだな」と感心しながらくつろがせて戴きました。

^{きゅうひん} 九份観光

九份の地名の由来は、山間の地で九人しか人が住んでいなかったため物資を運ぶ際に少量持つて行って九人で分ければ良い点にあったとの事でしたが、或る時期に金鉱^{きんこう}が発見されて急に人が増え急勾配の狭隘^{ひしめ}な土地に家屋が犇く特殊な

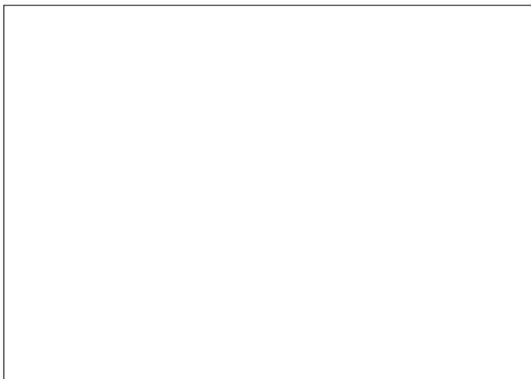


九份の入り口で勢揃い

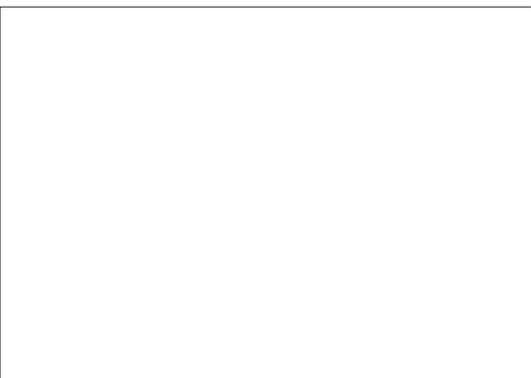
集落ができ、そのうち金鉱も廃れて最近は映画のロケ地として活用されているとの事ですが、軒と軒を接する急勾配の路を歩いてみますと食べ物の猥雑な匂いが渾然として私共の感覚には些か強烈に過ぎる様に思えました。狭い道路を乗用車が行き来しますので、歩行者はその都度身を避けねばなりません、七曲りする急勾配の迂回路を大型の観光バスを巧みに操って往来するドライバーが曰く「下手な運転手はとっくに死んで、上手な者だけが残って居ります」。

#### 花博覧会

花博覧会は世界を廻りながら4年毎に開かれるそうで台湾での開催は初回との事。随分と賑わっていましたが、私共の一行が会場に到着した時は頼パストガバナー以下台北のロータリーが入り口に迎えに出ておられました。



花博・ロータリー・マークの前で



パビリオンの中はどうなっているのかな？

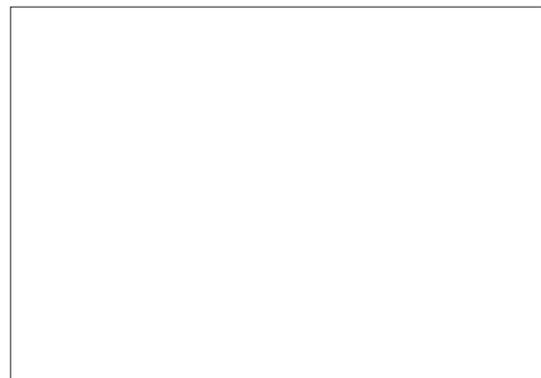


花博・五百年の大盆栽の前で

勿論広い会場は花一色なのですが、人気パビリオンでは長い行列が出来ておりましたのに私共は全て来賓扱いで優先入場させて戴ける。これには現地の方々に申し訳ない思いがありましたが、さすが人気を集めるだけあってそれぞれ最新鋭の映像技術を駆使した特別な仕掛けがあり興味が尽きぬ思い。その全てを詳述するには紙面が足りません。

#### 酋長文化歌舞劇場

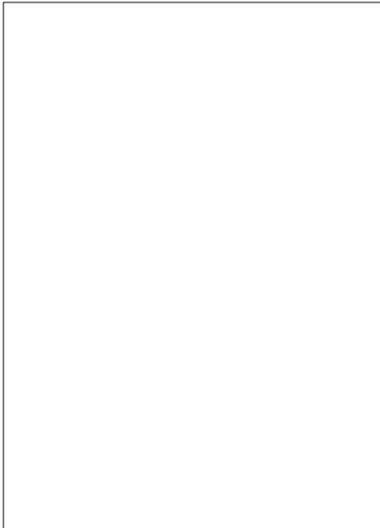
私共がかつて高砂族と呼んだ台湾の原住民の内でもタイヤル族は美男美女揃いでして、烏來という山紫水明の地に住み独特な文化を保持しております。私共はひとしきり此の地の特産品を買い漁った後、琉球舞踊程には洗練されたものではありませんが、農作業や婚姻の儀礼など躍動感あふれる民族舞踊を楽しみました。



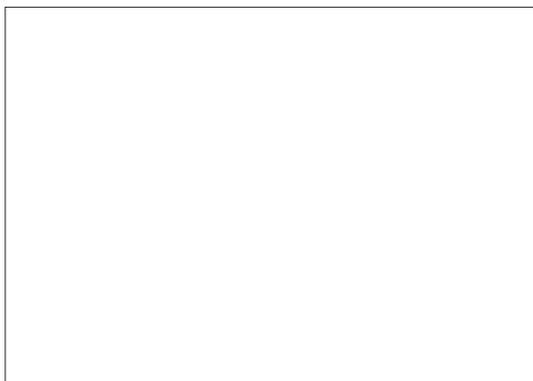
イケメンナンバーワンの男性と美女たち

忠烈祠にて

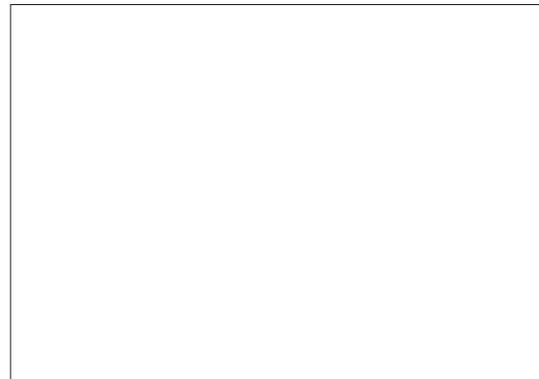
台湾の功臣を顕彰する施設「忠烈祠」では入り口と本殿に左右二人計四名の衛兵が立ち一時間毎に交代するのですが、衛兵達は立哨している間は同一姿勢を保ったまま瞬きもしませんから観光客は「人形じゃないか？」と疑ってその鼻先で手を振ってみたりしますが、それこそまじろぎ一つしない。やがて交代の時間になりますと営舎から引率の士官と四名の要員が出てきて交代のセレモニーを始めます。その一糸乱れぬ儀式が観物でして、良くも訓練されたものだと感心させられますが、私の様に万事に緊張感を欠いた日々を過ごしがちの者としては「瞬きくらいはさせても良いのになあ」と思いました。



自律神経以外はフリーズ



威風堂々



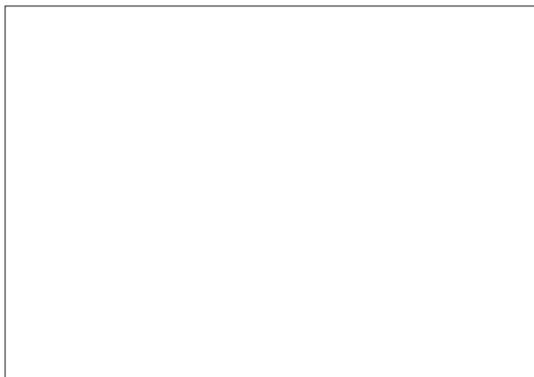
一糸乱れず

龍山寺にて

台湾の宗教は日本とは違った意味の神仏混交でして、寺院には仏様と中国古来の神様が一緒に祀られております。その様式は彩色ゆたか且つ絢爛豪華ですが、それにも増して参詣者の信心深さは異様にさえ感じられました。所狭しと集った人々は50センチにも及ぶ線香を立てて熱心に祈りを捧げ、中には涙を流す者もいる有様。境内のあちこちには数々の供物が山積状態で置いてありますが、食品は後で家に持ち帰って自分達で食べるそうです。

親日的な台湾の人々

そもそも台湾は以前私共が高砂族と呼んだ人達が先住ですが、中国の国情の変化、例えば蒙古族による元王朝や満州族による清王朝の成立時に一部の漢民族が難を避けて来住し、次いで1949年には中共軍に敗れ逃げて来た蒋介石率いる国民党関連の人々によって国家体制が整った謂わば歴史の浅い国ですが、明治から昭和の中頃まで日本の支配を受けた時期がありまして、その頃は古い歴史を誇る朝鮮に比べて国家的アイデンティティが確立していなかったのか？日本支配にさしたる抵抗感を持たなかった様です。先頃ジュディ・オングが「後藤さんが私達に良い事をして下さったので、私達も東日本大震災のために良い事をしたいのです」と言っております



参詣者の熱気と溢れる程の供物

た様に、台湾総督を務めた後藤新平が医者であったため衛生面その他でも一新する様な良い政策を立案実施したので、昭和 45年以前の台湾の人達は恩義を感じている様です。

おわりに

台湾観光に故宮博物館と台湾の中華料理は欠かせぬ筈ですが、それに触れると「語り尽くせぬ」というのが正直な感懐です。私共の病院に 28年間勤務しておられた富山( ふしやま 傅祖修 )先生はかねがね「蒋介石が宮廷の料理人を全部ひき連れて来たから台湾の料理こそ本物の中国料理です」と言っておられました。

それにも増して、故宮博物館に就いては、私自身が「例え生涯をかけて入り浸っても充分には見た気がしないだろう」と思っております。興味がおありの方は一度彼の地に渡って館内に展示してある名品の数々を御覧下さい。

### 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、御意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 字数は 4,000字以内 ( 400字詰原稿用紙 10枚以内 )  
写真・図 ( カラー印刷はできません ) も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします ( 写真 1 枚は約 300字に相当します )。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任ください。  
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。
6. 原稿は、メールの他、FAX、郵送等にも受け付けております。メールの場合はワードまたはテキスト形式で保存し、下記へお届けください ( 投稿項目、タイトル、ご氏名を明記してください )。なお、原稿用紙は県医師会で用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。

宛 先： 宮崎県医師会広報委員会

E-mail: genko@m-iyazakim-ed.or.jp

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

## 寄 稿

## 本原稿について

今回、宮城県宮城郡七ヶ浜町の開業医である、かしま田園クリニック院長の鹿島哲医師から「東日本大震災の活動報告」という原稿を寄稿していただきました。

七ヶ浜町は、本会のJM A T計 19チームが3 /19~ 6 /2の間、小学校・公民館での避難所の医療支援活動を行った地域であり、鹿島先生には地元の開業医として各チームをサポートしていただきました。

また、6月25日(土)に開催しました本会JM A T慰労会においても、わざわざ宮城県からお越しいただき、本会のJM A Tに対して感謝のお言葉をいただきました。

今回の原稿は、鹿島先生が7月に香川県の木田郡医師会で講演された時のものです。大震災直後の、現地の開業医の生々しい現状をまとめておられます。

## 東日本大震災の活動報告

宮城県宮城郡七ヶ浜町 かしま田園クリニック 鹿^か島^{しま}哲^{さとし}

## 震災当日 3月11日(金)

地震のその時は昼休みで自宅にいた。すぐクリニックへ。幸い患者はいなかった。駐車場で防災放送を聞き、職員は各自、高台に避難。義母を連れて田んぼ道を通り自宅に戻る。その後、田んぼ道は津波が押し寄せた。暗くなり夕食を終えるまでは自宅にいた。テレビはつかず、ラジオを持ち出すことも思い浮かばず茫然。何をしたらいいか考えつかなかった。家族と連絡を取るのが精いっぱいだった。空白の時間であった。

暗くなって考えたこと、町内で唯一の老人ホームが心配で診察に出向く。往診カバンを取りに行く時、田んぼが水浸しになっていることを知る。幸い老人ホームは問題なしだった。帰路、町役場に寄ることになった。電気が煌々ついで明るかった。正直なところ不安だったのだと思う。何をしたらいいのか、何ができるのか、

見当もつかなかった。役場には物と情報が集まっているからと言った人もいた。一番ありがたい物は電気だった。固定電話、有線のインターネットは使えず。

健康増進課には予防接種などで知り合った顔見知りの保健師がいた。相談を始める間もなく近くの小学校体育館の避難所から診て欲しいと頼まれる。腸閉塞歴のある方で嘔吐を繰り返していた。診察後、自家用車に乗せ救急病院に運ぶ。電話は使えず、連絡が取れても救急車は出はらっていた。病院との相談もしたかった。病院の救急外来は思いのほか落ち着いていた。津波被害では逃げて無傷か逃げられなくて溺死が多いと後で知った。トリアージでいうと緑か黒が多く、黄色や赤が少ないそうだ。真っ暗な夜道を自宅に帰る。

## 第2日 12日(土)

朝、町役場に出向く。待機して避難所から診

察依頼があれば出かけようと考えた。自宅にある風邪薬、整腸剤、睡眠導入薬などの入った引出しを持参した。車で夜を過ごした看護師も一人付き合ってくれた。医者は何人でもできないので心強い。役場近くの2か所の避難所から次々呼ばれた。寒く眠れない夜を過ごして、具合が悪くなった比較的軽症な人たちだった。災害医療の基礎知識などなく、大勢が避難している体育館に入っていくのは正直ちょっと怖かった。医者が顔を出し、診察し声をかけるだけで安心してもらえることがわかった。自分にもできることがありそうでほっとした。医者の仕事ってなんだろうと考える。不安と向き合い、共有し、緩和することも医療の役目の一つに違いない。これは日常からそうなのだけれど。災害医療には緊急を要する特別な知識と技能を持ったスペシャリストが活躍する場ももちろんある。しかし、日常診療の延長のようなゆっくり向き合う医療も存在するはず。町医者にもできることがあると学んだ。

町の保健師さんたちとも相談し、翌日から8か所の避難所を巡回診療することに決めた。幸いクリニックは無事で、当院は院内処方のため薬のストックもある。日頃、やや過剰在庫気味で注意しようと思っていたが、こういう時には役に立つ。町のマイクロバスに薬を積み、町の保健師さんたち、当院事務職員、看護師も付き合ってもらえることになった。

第3日 13日(日)～19日(土)までの1週間

毎日、午前、午後、避難所を巡回診療した。最初の3日間は3日処方、後半4日間は薬剤確保のメドが立ったので7日処方、内服薬も出した。3日処方の時は各避難所で事務職員が薬袋に入れてお出しした。7日処方になってからは診察時に処方を決めて記載し、持ち帰り処方してまとめて届けてもらった。津波で薬を流された人もいた。降圧剤、便秘薬、睡眠導入薬、

風邪薬がよく処方された。インスリンが必要な人も何人かいた。検査の道具は酸素飽和度モニター、血糖測定器とインフルエンザの迅速キットだけ持ち歩いた。

後半は全避難所を半分にして隔日でまわることにした。各避難所ではフロアを回る形で診療した。はじめに保健師、看護師、ボランティアが散って手を挙げた方の所に行き、予備問診をして医師を呼ぶスタイルにした。一か所に集めることも検討したが、行列ができていつまでも終わらないことを懸念し、この方法はとらなかった。

研修医時代お世話になった近くの総合病院から6日間看護師さんの応援をいただいた。東京、大阪から支援に来た人たちだった。また、15日(水)の夕方には三重のクリニックから応援隊がかけつけ、16日の巡回診療を手伝っていただいた。最終の土曜日はやはり近くの病院への若い支援医師二人に手伝っていただき、なんとか1週間を終えた。

町長との約束で巡回診療は投薬も含め無償提供とした。平行して自院の診療をどう再建するか考えた。

本格的な巡回診療2日目の14日(月)は、常勤の女性医師に避難所めぐりをお願いして、クリニック診療の再開を模索した。クリニックの建物は無事だったものの、寸前まで瓦礫が押し寄せアクセスが制限されたこと、電気・水道・電話が不通であったことを考え、町役場裏の母子健康センターを借りて診療することにした。巡回診療を無償提供するかわりに、場所は無償提供していただき、私企業として営業させていただくことにした。下世話なお話にはなるが、ボランティアワークと企業活動のバランスを取ることも経営者として大切なことではないかと思う。

当院の場合二兎を追うことができたのは、医師が複数体制だったおかげでもある。

保健所と県にも届けを出し、医師会長にも事後報告した。

もともと院内処方であり、薬卸さんとは楽天の試合を一緒に見に行くなど仲良くしていた。こういう時のために仲良くしていたわけではないが、結果的にはこれがとても助かった。翌日にはなかなかつながらない携帯電話で連絡を取ってくれたり、実際に足を運んでくれたり、震災 4 日目には必要な薬品をほぼそろえることができていた。早くに動きはじめたため、どのような薬品が必要になるか把握できたこと、他の医療機関が動きだす前だったので、手持ち在庫から都合してもらうことができた。

1 週間避難所の巡回診療を終えた春分の日、連休に、宮崎、神奈川からの医療チームが入ってくれた。おかげで翌週からは仮設診療所の診療に軸足を動かすことができた。翌週は 16日(水)、17日(木)の 2 日だけで避難所巡回は終了した。

その週以降は北海道、島根、福岡、佐賀、香川、山口と各地から医療チームが入ってくれた。私自身は仮設診療所が役場裏だったこともあり、その診療とともに医療チームとのご挨拶、困った時の連絡先として働かせてもらった。

常時おおむね 3 チームの医療チームに入っただけ、大きな避難所に日中常駐していただいた。3 月中はガソリン不足のため、医療機関が診療再開していても受診できない方々が大勢いたので、常駐医療チームは本当に心強くありがたい存在だった。

せっかく全国各地から医療チーム派遣の申し出がたくさんあったのに、残念ながらその多くを県単位ではお断りしていたようだ。せっかくの支援の気持ちと、一方、石巻や南三陸など医療を必要とするところがどう見てもいくらでもあると思われる状況なのに、それが結びつかないことにもどかしさを感じていた。県からは地元自治体に必要がないか、何度も打診していた

らしい。しかし、各自治体は医療チームを受け入れる余裕がなかったようだ。困っている所があり、支援提供を申し出るところもたくさんある。しかしそれが結びつかない。物資なども同様のことがあったようだ。コーディネータのような存在がもっともっと必要だったのだと思う。また別の見方をすれば、特に最初の 1 週間から 2 週間くらいの間は、正式な要請、ルートを待たずに、勝手連的に動く存在も必要だったのではないかとすら思ってしまう。震災後 4 日目の夕方到着した三重のクリニックのチーム、連休に到着した神奈川チームはそんな存在だった。連日の避難所巡回に早くも顎を出し始めた時期だったので本当にありがたい登場だった。

震災後 3 週間経過した 4 月 2 日(土)をもって仮設診療所での診療を終え、4 日(月)からは自院に戻って診療した。幸い 2 日の午前水道が復旧した。固定電話の再開は遅く 4 月 2 日のことだった。それまでは午後 4 時に診療を終える制限診療にした。

今回の震災で七ヶ浜では 60 人ほどの方がお亡くなりになった。いずれも悔しい死ばかりである。その中で自分がかかわりながら残念な結果になったケースを 2 つお話ししておきたい。

一つ目は避難所にいた 70 代の男性である。奥さんは当院のかかりつけで、ご主人は透析を受けていた。ご主人も風邪の時など何度か受診することもあった。少し頑固なところのある方だった。避難所で姿を見かけたので、透析に行っただけか声をかけた。まだ行っていないというので、すぐにでも行くようにお話しした。翌日も避難所で姿を見かけたので再度透析に行くよう説得した。中々おみこしを上げてくれなかった。おりからガソリンがない時で、連れて行ってもらうご家族への気兼ねもあったのだと思う。車で 10 分ほどのいつもの透析クリニックは津波で休診だったため、仙台の病院に行ったところ、一

度かかりつけ施設に行きそこから紹介してもらって受診するように言われた。

翌日かかりつけ医を受診し、そこからバスで仙台の病院に送られ透析を受けたが、病状が悪化し、近くの総合病院に入院したものの帰らぬ人となった。ガソリンや情報の不足があったとはいえ、私自身がかわりながら救命できなかったことが悔やまれる。透析患者のリストは、透析機関と行政あるいは医師会などで情報を共有し、緊急時に速やかな対応ができるようシミュレーションしておくことが必要だと思う。県内での対応能力を超える時は、隣県に速やかにお願する手筈を整えておけばなお安心である。香川の立地を考えれば、それも可能ではないかと思う。ついでに言えば1型糖尿病患者さんのインスリンも同様だが、これは各医療機関で少し余裕を持たせて処方するのが賢明だと思う。

もう一つ残念だったことは、町役場職員から殉職者を出したことである。役場は震災当日から、それこそ戦場のような忙しさだった。当日夜から出入りしていたので、それが本当によくわかった。連日連夜の長時間労働で、家を流され役場に寝泊まりして働く人もいた。間近で見ているブレーキをかけないといけないと思っていた。休んでください、とはあちらこちらで声をかけた。疲れすぎて眠れない人には睡眠導入薬を処方した。震災から1週間ほどの夜倒れた職員が出た。すぐに救急車で総合病院に連れて行ったが救命できなかった。もともと持病がある人ではあったけれど、震災、それによる過労がなければもう少し元気でいられたことだろう。そばについていながら守れなかったことがとても残念だ。災害時に頑張る人たち、役場職員、自衛隊、消防、消防団、地域の自治会リーダー、ボランティアなどの生命を守ることも医療の大事なつとめである。長時間の労働と過酷な業務で、身体のみならず精神も疲弊する。精神科の

先生の役目も小さくない。

ちょっと脱線になるが、当初の数日、炊き出しのごはんを職員総出で夜中までかかっておにぎりになっていた。当然、翌日日中に働かなければならない人たちである。その時も、今思い返しても、それこそ早期にボランティアを募ってもよかったのではないかと思った。それを考えつかないくらい、考えついても実行できないくらい無我夢中だったのだろう。早い時期に他の地域から総務課長などのマネージャーを派遣してもらい、第三者的に、できればボランティアや消防団などの民間人も含めた、労務管理をお願いするのでもいいかもしれない。熱い集団には冷静なマネージャーが必要だと思う。

さて、ここで震災前のことをもう一度振り返っておきたい。

大災害に対する備えがどうだったか？

地元医師会では地域の中核的病院とともに、大災害に備えての机上訓練をやっていた。トリアージの勉強もした。またライフラインが絶たれ、それぞれの診療所が機能しないことを想定して、いくつかの病院に参集し、診療を手伝うことになっていた。

実際には、特にわが町では固定電話、FAX、インターネットが使えず、連絡手段が途絶えたこともあり、また、私個人ではすっかり上記の約束事を忘れていて、単独行動になってしまった。事態が想定を超えたものであったとしても、これがどのように評価されるべきか、課題である。私見であるが、医師会は医師の権利、利益を守り、また調整する団体である。緊急事態の時にそのような側面に加えて、‘困った時にどうしたら住民の役に立てるか？’との医療本来の立場も大切で、その両者のバランスを取ることが大事なのではないかと思う。

また、自院で診療できるところとそうでないところがある。診療再開できれば経済活動がで

きるわけだが、そうではないところは途方にくれる。通常診療できるところと、そうでないところの労働や経済のバランスをとれないものかとも思ったものだ。

町との事前の準備、連携も十分ではなかった。医師会員として個人的に町と協議することもできず、あくまで医師会を通じてのおつきあいだった。平時の感覚としては、それもやむを得ないところと思う。公的なつながりの隙間を埋めるのは顔見知り、個人のつながりであろう。

一町民の立場で考えた時に、津波を想定した避難訓練にも参加をしたことがなく、危機感は欠如していた。

個人医院の長としても、災害時に職員、患者さんの安全をどう守るかの視点が欠けていたことは反省しなければいけない。

災害時の医療について、少なくとも阪神淡路大震災の後、さまざまな報告が出されていたにもかかわらず、まったく目を通していなかった。地域の安全にかかわる者として自覚が足りなかった。

想定外の災害とはいふけれど、想定して準備してイメージトレーニングを重ねることは、やはり大切だ。その上で想定外のことに對し動きながら考え、考えながら動くことが必要だと思う。入学試験前の準備に例えれば、過去問を何度も解き研究する。しかし、本番では見たこともない問題が出るかもしれない。それでも過去問で鍛えた力でなんとか解答を見つけられることもある。そんなイメージだ。想定外のことは起こりうるがあれこれ想定しておくことは大事だと思う。また想定外だと思わするのではなく、動きながら考え時に振り返り軌道修正することも必要だ。

振り返るとああすればよかった、こんな風にもできたと思省点が次々出てくる。少しよかった点も思い出したい。今日の主題とも通じるこ

とだが、町長さん、役場の保健師さん達と、職務、会合などを通じてうっすらながらつながりがあり、結果的にこれが役に立った。やはり、危急の時にお互いの顔、人となりがある程度わかっていることは安心である。保健師さんや役場の人々は、狭く人口2万人強の町ゆえ、どこに高齢者や障害者、妊婦さんなどの災害弱者がいるか把握できており、すごいなあと思つて感心した。

また、前述のように薬品の確保にも普段からの付き合いが役立った。仕事以外でつながることもお互いの人間を知るうえで大切であろう。

各避難所では地区の班長さん、区長さんが中心になり、町職員と協力して運営していく姿を見かけた。日ごろからのおつきあい、つながりが災害の時には基礎の力になることは間違いない。行事などを通じて町内の親睦を深めておくこともこのような時に役立つものと思う。

職員には特別な指示命令は出さなかったが、余震など危険も予想され、また水や食料が不足する中、出勤してくれた。無我夢中で動いていた時には、医療に従事するものとして、非常事態に一生懸命働くのは当たり前だ、と思っていた。今冷静に思い返すと、これも感謝しなければならぬ。

つながることの大切さでは、遠方の人々の善意にもずいぶん助けられた。交通機関が困難な折にかけつけていただいた大勢の方々には、本当に感謝の言葉も見つからない。また送り出してくれた職場の人たち、休診に文句を言わなかった患者さんにも支えられたのだと思う。人によって受け止め方が多様だと思うが、マスコミを通じて伝えられるメッセージにだって、ずいぶん勇気もらった。

毎日避難所を回り、厳しい生活にも明るく、気丈に、秩序正しく生きる人々に、たくさんの元気をもらった。遠方から来ていただいた医療

チームの人たちも、皆同様の感想をもらしていた。芸能人やスポーツ選手が慰問に行った時にも、だいたい同じことを言う。‘励ましに行ったつもりだったのに励まされて帰ってきた’と。正直な実感だと思う。

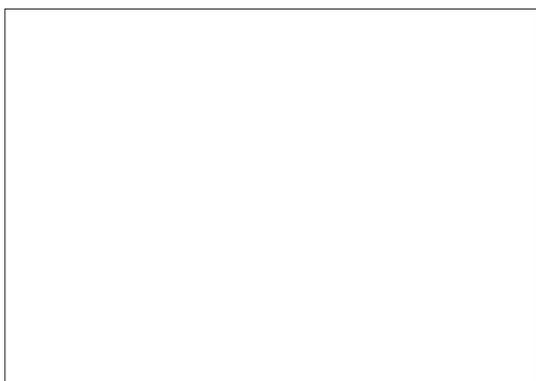
動きながら考え、考えながら動くことは渦中にいると中々難しいかもしれない。災害直後はある意味、一同ハイの状態なので、冷静な判断がしにくい可能性がある。マネージャー、コーディネータといった存在が重要になると思う。

どんな人材が適任か、難しいが総合病院の事務長、企業の総務人事畑の人、物流関係のスペシャリストなどが何人か組むのがいいかなと思ったりする。

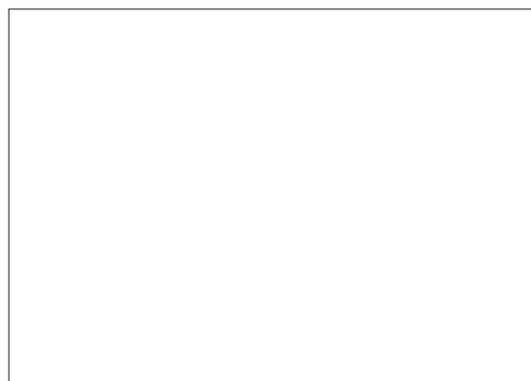
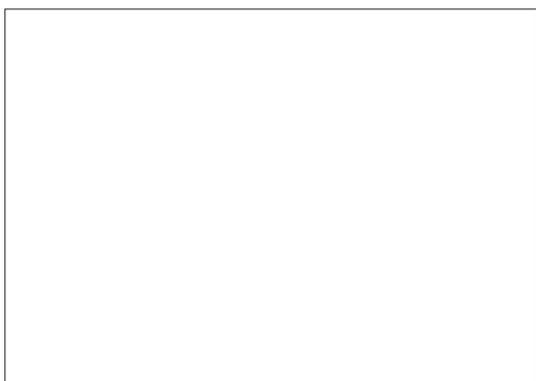
悔しく悲しく切ない話もたくさんあるが、ここから出発するしかない。少し顔を上げて前を向いて歩いていきたい。

また、このような経験を他の地域、後世に伝え、まさかの時に一人でも多くの命が救われることを願ってやまない。

平成 23年 6月 25日(土)宮崎県医師会 JM A T 慰労会の様子



鹿島 哲 先生



宮崎県医師会 JM A T チームへの  
被災地からのお礼メッセージを読む参加者

## お知らせ

宮崎県医師会勤務医住宅ローンの  
融資利率改定について

下記のとおり改定されましたのでお知らせいたします。

## 1 . 改定内容( 融資利率 )

区 分	改 定 後	現 行	改 定 幅
変動金利型 ( 長プラ連動型 )	年 1.35%	年 1.65%	0.30%

## 2 . 実施日( 平成 23年 10月 3 日以降の新規貸出実行分より適用 )

## 宮崎県医師会勤務医住宅ローンの商品概要

融資限度額	50万円 ~ 5,000万円
資金用途	住宅の新築・増改築・補修資金, 住宅用地の購入資金
金 利	【固定金利選択型】( 2年 ) 1.1% , ( 5年 ) 1.3% , ( 10年 ) 1.75% , ( 15年 ) 2.8%
	【変動金利型】( 長プラ連動型 ) <u>1.35%</u>
	【変動金利型】( 短プラ連動型 ) 1.25%
融資期間	30年以内
担 保	要担保
保 証 人	法定相続人, 担保提供者, 年収合算者
備 考	借入時 65歳以下, 完済時 70歳以下, 団信生命保険付
提携銀行	宮崎銀行

問合せ先 宮崎県医師会 経理課 ☎ 0985-22-5118

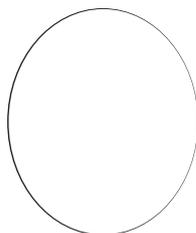
## エコー・リレー

( 434回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 一眼レフカメラ

宮崎市 竹内病院 石原史朗



一眼レフカメラとは、レンズと撮像面の間に鏡を置き、実際に撮影する像を見ながらシャッターを押すと鏡が跳ね上がり、レンズからの光が撮像面で像を結ぶ仕組みのカメラである。私がやっこのこと

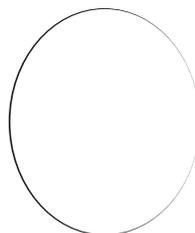
で手にすることのできたのは昭和 50年代で、もちろんフィルムを用いるものであった。花や鳥や星などを撮っていたが、現像するまではどの様に撮れたかは分からず、実際現像してみると、だいたいと思うように撮れていないことがほとんどであった。

仕事をするようになると子どもの運動会位しかカメラの出番はなく、さらに時が経ち世間ではデジタルカメラが全盛となり、自分でもポケットに入り気軽に撮れるデジカメで充分で、デジタル一眼レフカメラみたいな高価なものは無縁と考えていた。ところが、大学生になった子どもが中古のデジタル一眼レフカメラを使っているのを見て、確認したら以前よりもかなり安くなっており、思い切って購入。ところが、撮るだけならすべてオートで済むが、一工夫しようとすればいろんなボタン操作があり、しばらくすると忘れてしまう。撮影した画像は画質も良く、後でフィルター効果を付け加えたり、はたまたスケッチ風の絵として撮ることもできる。立派で便利だが、説明書無しではポケットに入る手軽なデジカメには勝てず、たいして使わないまま、お蔵入りの心配まで出てきた今日この頃である。

〔 次回は、宮崎市の篠原 立大先生にお願いします 〕

## 海の中

高鍋町 海老原総合病院 米澤 勤



3年前から、スキューバダイビングを始めた。もっと若い時期からやりたいと思っていたが、なかなかきっかけがなく 50歳を過ぎてからになってしまった。0メートル以下の世界は、当然のことながら

「非日常」であり、刺激的かつ魅力的で、地上で溜め込んだストレスを発散するには持って来いである。仲間とのコンタクトは必要であるが、会話をする必要がなく、自分の世界に引き籠っていられる。また、始める前には知らなかったのだが、ダイビングは冬でも出来る。いや、宮崎の場合、冬のほうが海のコンディションが安定していて透明度も良く、快適なのである。ドライスーツなるものを服の上から着て海に入るのだ。したがって終わった時にも頭と顔を洗うだけで着替えもすぐ終わる。

ダイビングは海から出ても楽しい。共通の趣味を持つことで、そうでなければ話さえる機会がないであろう幅広い年齢( 10~ 80歳 )の、いろんな職業の人たちと付き合える。食事会や飲み会だったり、カラオケやボウリングや映画鑑賞だったり、また、通常では考えられないことだが、若い娘たちと一緒に、「お泊りツアー」にだって行けたりするのだ。行った先では地上と海中の両方の世界を楽しむことが出来る。今年には五島に 2 回行った。10月には鵜来( 高知 )、11月には中ノ島( 鹿児島 )、そして 12月にはパラオに行く予定だ。夏の終わりの今の時期、クラゲに刺されながらも海通いは止められない。

〔 次回は、宮崎市の中村 都英先生にお願いします 〕

### 宮崎県感染症発生動向 ～ 8 月 ～

平成 23年 8 月 1 日～平成 23年 8 月 28日( 第 3 週～ 34 週)

#### 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 20例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 17例，疑似症患者 1 例，無症状病原体保有者 2 例で，患者は肺結核が 1例，その他の結核(結核性胸膜炎，結核性心膜炎，腰椎硬膜外腫瘍)が 6 例であった【表 1】。男性 12例，女性 8 例であった。年齢別報告数を【表 2】に示した。

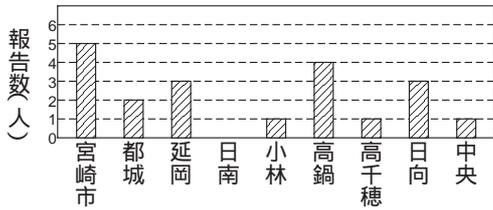


図 1 保健所別報告数(人)

3 類 腸管出血性大腸菌感染症 10例が宮崎市・高鍋(各 3 例)，都城・日南(各 2 例)保健所から報告された。患者 6 例，無症状病原体保有者 4 例で，患者の症状は水様性下痢，血便，嘔吐，発熱等がみられた。O 血清型及び毒素型別報告数を【表 3】，年齢別報告数を【表 4】に示した。

4 類 ○レジオネラ症(肺炎型)1 例が宮崎市保健所から報告された。50歳代の男性で発熱，腹痛，下痢，意識障害，肺炎がみられた。  
○レプトスピラ症 1 例が宮崎市保健所から報告された。60歳代の男性で発熱，筋肉痛，蛋白尿，腎不全，皮疹がみられた。

5 類 破傷風 1 例が中央保健所から報告された。80歳代の男性で筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害がみられた。

#### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,683人( 定点あたり 112.0)で，前月比 68%と減少した。また，例年と比べると 127%と増加した。前月に比べ増加した主な疾患は RS ウイルス感染症で，減少した主な疾病は，ヘルパンギーナ，手足口病，咽頭結膜熱であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病は RS ウイルス感染症，伝染性紅斑，ヘルパンギーナ，手足口病であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 254人( 7.1)で前月の約 12 倍，例年の約 32 倍であった。日向( 22.0)，延岡( 17.5)保健所からの報告が多く，年齢別では 2 歳以下で全体の約 9 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 201人( 5.6)で前月の約 8 割，例年の約 7 倍であった。延岡( 17.0)，日向( 9.3)保健所からの報告が多く，年齢別では 2 歳から 6 歳で全体の約 7 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 694人( 19.3)で前月の約 4 割，例

表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	11
その他の結核	6
疑似症患者	1
無症状病原体保有者	2

表 2 結核の年齢別報告数(人)

20歳代	30歳代	50歳代	60歳代
1	1	3	2
70歳代	80歳代	90歳代	
4	8	1	

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の O 血清型及び毒素型別報告数(人)

	VT1	VT2	VT1,VT2	VT
○ 157		5	2	
○ 145			1	
不明	1	1		

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

0 歳	2 歳	50歳代	60歳代
1	2	2	5

表 前月との比較

	8 月		7 月		例年との比較
	報告数(人)	定点当り(人)	報告数(人)	定点当り(人)	
インフルエンザ	1	0.0	1	0.0	
RS ウイルス感染症	254	7.1	22	0.6	
咽頭結膜熱	116	3.2	223	6.2	
溶レン菌咽頭炎	125	3.5	223	6.2	
感染性胃腸炎	622	17.3	738	20.5	
水痘	177	4.9	254	7.1	
手足口病	961	26.7	1,834	50.9	
伝染性紅斑	201	5.6	242	6.7	
突発性発しん	188	5.2	177	4.9	
百日咳	1	0.0	1	0.0	
ヘルパンギーナ	694	19.3	1,569	43.6	
流行性耳下腺炎	272	7.6	280	7.8	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	66	11.0	56	9.3	
細菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
無菌性髄膜炎	1	0.1	6	0.9	
マイコプラズマ肺炎	3	0.4	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年の約2.2倍であった。延岡(54.0)、日南(23.7)、宮崎市(19.9)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳で全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は69人(26.7)で前月の約半数、例年の約1.9倍であった。中央(53.0)、高鍋(44.5)、宮崎市(32.9)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳で全体の約8割を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 8月

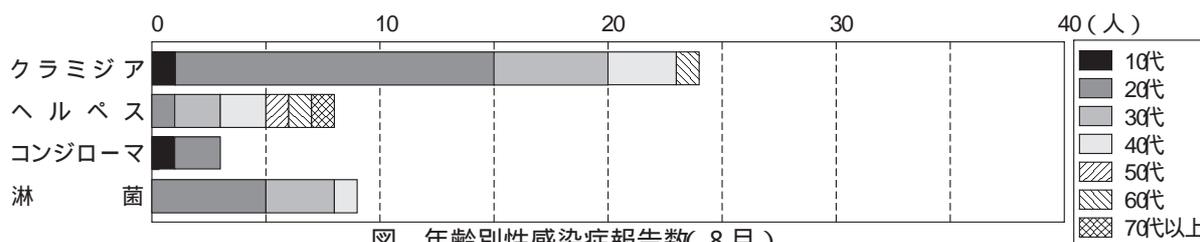
#### 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は44人(3.4)で、前月比86%と減少した。また、昨年8月(4.9)の約7割と少なかった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数24人(1.9)で、前月の約7割、前年の約6割であった。日向(4.0)、延岡(2.5)保健所からの報告が多く、男性・女性各12人で、20歳代が全体の約6割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数8人(0.62)で、前月の約1.6倍、前年の約9割であった。男性3人・女性5人で、30歳代・40歳代が各2人、20歳代・50歳代・60歳代・70歳以上が各1人であった。
- 尖圭コンジローマ 報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、前年と同数であった。男性2人・女性1人で、20歳代が2人、10歳代が1人であった。
- 淋菌感染症 報告数9人(0.69)で、前月の約8割、前年の約6割であった。すべて男性で、20歳代が全体の約6割、30歳代が約3割を占めた。



【全国】定点医療機関総数 967

定点医療機関からの報告総数は4,575人(4.7)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,321人(2.4)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症741人(0.77)で前月比103%、尖圭コンジローマ483人(0.50)で前月比114%、淋菌感染症1,030人(1.1)で前月比110%であった。

#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は36人(5.1)で前月比78%と減少した。また昨年8月(5.4)の約9割であった。

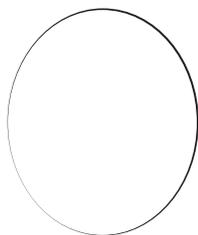
#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数32人(4.6)で、前月の約8割、前年と同数であった。宮崎市(9.0)、高鍋(8.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約6割、5歳未満が約3割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数3人(0.43)で、前月の約6割、前年の約半数であった。延岡(2.0)、高鍋(1.0)保健所からの報告であった。60歳代が2人、70歳以上が1人であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数は1人(0.14)で前月と同数であった。70歳以上の男性であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】定点医療機関総数 467

定点医療機関からの報告総数は2,513人(5.4)で、前月比111%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症2,148人(4.6)で前月比114%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症315人(0.67)で前月比99%、薬剤耐性緑膿菌感染症45人(0.10)で前月比91%、薬剤耐性アシネトバクター感染症5人(0.01)であった。  
(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



MRT 宮崎放送報道制作局長

こぼりまさ たか  
小堀正貴

「瓦礫と書いて思い出と読む」, 東日本大震災からしばらく後に, 新聞か雑誌で見かけた, おそらく被災者の言葉。テレビや新聞でガレキ撤去がニュースとなっていたころです。家族と過ごした家, 大切な品々。流されてしまったけれども, 不細工な言葉で表現されたくないという被災者の気持ち, 私たちとの間の落差を感じました。

MRT では震災直後の 3 月 12 日に 3 名の応援取材クルーを派遣, 中継車スタッフも含めると, 5 月中旬までに合わせて 8 クルーが被災地入りしました。最初に派遣した記者は, 「避難所では, カメラを持っているだけでも激怒され, 文句を言われることもありました。しかし, 私たちが現場の実情を取材し, 伝えることで, つながる命がある。希望を持ってもらえる報道をしよう」と報告しています。災害取材でのジレンマに悩み, 取材方法を考え抜いて記者は育っていきます。

5 月 2 日, JNN (TBS 系列のニュースネットワーク) は三陸臨時支局を立ち上げました。「被災者に寄り添う心」を原点に, 三陸支局を中心と

して「明日へ」「復興の日々」などの企画取材・放送を続けています。ホームページ ([http://news.tbs.co.jp/newsi_sp/sanriku/](http://news.tbs.co.jp/newsi_sp/sanriku/)) のアーカイブで支局開設以降の企画がご覧いただけます。MRT も 8 月に三陸支局などへ 2 クルーを派遣, 10 月は「フクシマ」に出します。少なくとも 1 年間はこうした応援が続きます。派遣した記者のレポートも放送いたしますので, ご意見, ご感想を頂ければ幸いです。

話は変わりますが, 9 月の台風 12 号で, 「深層崩壊」が新聞に載りました。県のホームページで豪雨災害の記録を検索すると, 別の記述が目に入りました。「大雨。山間部に堆積していた享保初期の火山噴出物が土石流となり, 高原郷から高崎, 高岡, 野尻郷一帯を襲い, 多数の死者が出ました」とあります。発生は 172 年, 新燃岳噴火の 4 年後です。警戒することを忘れそうな長さです。2005 年に台風 14 号が襲来した際, 鰐塚山で深層崩壊が発生, 県道が不通となって, MRT はデジタル化のための親局工事ができないかも, と心配したことは, すっかり忘れていました。私だけでしょうか。



## あなたできますか？

平成 22年度 医師国家試験問題より

( 解答は 58ページ )

1. 障害を受けると「ばびばべば」が発音しにくくなる脳神経はどれか。
  - a
  - b
  - c
  - d
  - e XII
2. 吸収不良を伴う疾患はどれか。
  - a 逆流性食道炎
  - b 十二指腸潰瘍
  - c Crohn病
  - d 大腸憩室症
  - e 過敏性腸症候群
3. 20歳の男性。火災で受傷したため搬入された。2時間前に自宅で就寝中に火災となり、廊下で倒れているところを発見された。意識レベルはJCS - 2。体温 37.0。呼吸数 34分。脈拍 112分、整。血圧 90/62mmHg。嚔声があり、喘鳴を聴取する。顔面、胸部、右上肢に水泡形成を伴う熱傷創がみられる。心音に異常を認めない。動脈血ガス分析(自発呼吸、マスクで酸素投与 6 l/分): pH 7.36, PaCO₂ 45 Torr, PaO₂ 160 Torr, HCO₃⁻ 25.0 mEq/L, 血中一酸化炭素ヘモグロビン濃度 19%(基準 1 以下)。まず行うべき対応はどれか。
  - a 輸血
  - b 気管挿管
  - c 抗菌薬投与
  - d 熱傷創冷却
  - e 高カロリー輸液
4. 大規模災害現場で多数の負傷者が発生している。歩行可能な中年男性が上腕の痛みを訴えている。意識は清明。この人のトリアージタグで適切な色はどれか。
  - a 黒
  - b 赤
  - c 黄
  - d 白
  - e 緑
5. 小児の溶血性尿毒症症候群(HUS)の原因疾患として最も頻度が高いのはどれか。
  - a 赤痢
  - b サルモネラ感染症
  - c 腸管出血性大腸菌感染症
  - d Kasabach Merritt症候群
  - e 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)
6. Down症候群にみられる眼所見はどれか。
  - a 兔眼
  - b 白内障
  - c 黄斑円孔
  - d 眼瞼下垂
  - e 角膜ジストロフィー
7. 軸捻転症が起こり得るのはどれか。2つ選べ。
  - a 胃
  - b 十二指腸
  - c 下行結腸
  - d S状結腸
  - e 直腸
8. 60歳の男性。従来は周囲に対する配慮ができていたが、最近は著しく自己中心的な言動が目立つようになったことを心配した家族に伴われて来院した。1年前から気力がなくなり、ぼーっとたずんでいることが多くなった。自室内には、数か月前から収集し続けているペットボトルが山積みになっているという。最も考えられる疾患はどれか。
  - a Alzheimer型認知症
  - b Lewy小体型認知症
  - c 前頭側頭型認知症
  - d 強迫性障害
  - e 統合失調症
9. 62歳の女性。めまいを主訴に来院した。今朝、目が覚めて起き上がるうとしたとき、周りぐるぐる回る激しいめまいと嘔気とを自覚した。めまいは臥位安静によって数十秒で軽快する。頭痛、耳鳴、難聴および四肢の筋力低下を認めない。頭位変換眼振検査で左下懸垂頭位にて時計回り、右側臥位にて反時計回りの減衰する回旋性眼振を認める。考えられるのはどれか。
  - a 前庭神経炎
  - b Ménière病
  - c 起立性低血圧
  - d 一過性脳虚血発作
  - e 良性発作性頭位眩暈症
10. 15歳の男子。不登校を心配した母親に伴われて来院した。10歳時に急に首を傾けたり、顔をしかめたり、咳払いや「オッ」という声を発作的に発したりするようになった。自分では制御できずに卑猥な言葉も発するようになった。緊張すると顔しかめや発声の発作が増えるため、学校では奇異な目で見られ、いじめられた。2年前から欠席が目立ち始め、1か月前から不登校となった。身体所見に異常を認めない。尿、血液および血液生化学所見に異常を認めない。頭部CTと脳波とに異常を認めない。治療薬として適切なものはどれか。
  - a L-dopa
  - b 炭酸リチウム
  - c パロキセチン
  - d ハロペリドール
  - e メチルフェニデート

## 各都市医師会だより

## 西 白 杵 郡 医 師 会

高千穂地方に伝承された神楽は、天照大神あまてらすおおみかみが天岩戸に隠れられた折に岩戸の前で天鈿女命あまのうずめのみことが調子面白く舞ったのが始まりと伝えられ、古来私どもの祖先は長い間高千穂宮を中心にこの神楽を伝承して、今日に及んでいる。毎年11月の末から翌年2月にかけて各地区ごとで、三十三番の夜神楽を奉納し、秋の実りに対する感謝と豊穰を祈願するものである。「高千穂の夜神楽」は、国指定重要無形民俗文化財にもなっている。

神楽宿の中には、神々と里人の絆が表現された彫り物と注連縄を四方にめぐらせた神庭が設けられ、ここで「ほしやどん」と呼ばれる舞い手たちが神楽三十三番を舞い続ける。面を着けて舞う神楽は地割、山森、五穀、七貴神、八針、御身体といった神々の舞い。それに対し、面を着けない「素面舞すおもてい」は清め祓い、鎮魂、豊穰祈願などの願神楽で、それぞれに意味がある。観光で夜神楽を訪れた人たちも一夜氏子となり、一緒に夜神楽を楽しむことができる。

県北を未曾有の災害が見舞った平成17年9月6日の台風14号は、高千穂鉄道にも大きな被害を及ぼし、その日から列車の運行は途切れ、平成20年12月28日には全線廃止。現在、夜神楽見学者数の減少に悩んでいる状況です。

みなさん、これからの観光シーズンにぜひ高千穂の夜神楽見物はいかがでしょう？

(植松 昌俊)

◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

7月30日(土)に宮崎市郡医師会主催の看護師夏期研修会が開催された。昨年のテーマは口蹄疫と子宮頸癌ワクチンだった。今年は東日本大震災の救援活動にした。「日本医師会災害医療チームJM ATに参加して」と題して、初動時に参加された古賀総合病院の後藤崇先生、看護師として参加された同病院の和泉貴子副看護部長、開業医として参加されたひろの内科クリニックの弘野修一先生に講演いただいた。参加者119名。宮城県七ヶ浜町での寄り添いながらの継続支援活動の報告を拝聴した。行くまでの準備が大変、支援者のセルフケアが大事、望まざる医療支援に備える等の言葉が印象に残った。(成田 博実)

◇ ◇ ◇ ◇

## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

長引くデフレスパイラルに加え東日本大震災、

放射線被曝、エネルギー問題と我が国は問題山積で景気もなかなか回復の兆しがありません。この国に生まれたらそれだけで幸せと言えた日が懐かしい。¹⁾ 消えゆく街並みを憂うことのないよう、都城の若手中年医師達は牟田町や栄町の夜のパトロールに頑張っております。新医師会病院の建設も設計業者が決定し、これからはTim e is m oney だから急ピッチで進んでいくことと思います。

先日(8月20日)、北郷で南那珂医師会チームと野球の試合をしました。接戦の末、都城市郡医師会野球チーム“MJゴールデンホークス”の勝利。かんぼの宿で温泉に入り、油津で懇親会をしました。油津の夜の街もさぞ寂しかろうと思っておりましたが、意外と若者達が元気でした。野球チームのある医師会は是非挑戦させてください。(田中 穰式)

1)桑田佳祐「グッバイ・ワルツ」より

◇ ◇ ◇ ◇

## 延 岡 市 医 師 会

10月18日、第8回地域医療ネットワーク連絡協議会が開催されます。この協議会は、医療・介護・行政の担当者の顔が見える関係を作るために平成18年に作られました。地域包括ケアシステムの構築を目指し、延岡市でもいろいろな会議や勉強会等が行われており、今後この協議会のもつ意義がさらに大きくなっていくと考えています。(宮本 義明)

◇ ◇ ◇ ◇

## 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

一般法人移行手続きも大詰めを迎えました。去る8月8日(月)に定款変更案およびオンライン入力済みのデータを出力し、事前確認のため担当課である医療薬務課を通じ行政経営課に一式書類送付をしてもらいました。事前確認に1か月を要し9月5日、漸く不備なところについて指導の連絡があり、修正作業を行ってもらっているところです。最終的な確認と3月末付の認可通知書送付依頼を兼ね、事務長・公認会計事務所職員2名で直接行政経営課へ出向くようお願いをいたしました。9月理事会で臨時総会に上程のための停止条件付き定款変更案の審議を行い、10月中旬に臨時総会の決議を経て、宮崎県公益認定等審議会に正式申請することになっています。(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

## 児 湯 医 師 会

原発事故による風評被害は口蹄疫と同じくとても理不尽で、憤りさえ感じます。放射能は大丈夫とわかっているにもかかわらず福島県産というだけで学校給食の野菜を食べずに残すよう指示する母親は、たべものの有り難み、大切さを将来子供達に伝えることができるのでしょうか？放射線が人体に与える影響の正しい知識が必要です。

(喜多 保一郎)

◇ ◇ ◇ ◇

## 西 都 市 ・ 西 児 湯 医 師 会

今年は、猛暑と天候不順が続き、さらには日本中が台風による甚大な被害を受けるという異常な夏でした。一方で台風が過ぎ去ると一気に秋めいてきました。少し肌寒さを感じると、とたんに増えるのが脳卒中。西都児湯地区でも医療センターに搬入される脳出血患者が増えています。過ごしやすい季節となっていますが、血圧を含めた体調管理を心がけたいものです。

(瀆砂 亮一)

◇ ◇ ◇ ◇

## 南 那 珂 医 師 会

去る8月20日(土)に都城市北諸県郡医師会の先生達と南那珂医師会の先生達との野球の交流試合が北郷町のグラウンドで行われました。残念ながら両チームとも半数近くが医師以外の助っ人で構成され、とても医師会対抗とは言えない状況でしたが、試合のほうは1点を争う好ゲームとなり、予想通り楽しい息抜きになったようです。私(56歳)もピッチャーとして出場する予定だったのですが、練習のし過ぎで持病の腰椎分離症が悪化し涙の欠場となり、大変御迷惑をおかけし申し訳なく、また自分としてもとても悔しい思いをした次第です。9人揃わなくてもなんとかあります。今後あちらこちらで野球の花が咲き、いい交流ができるといいなと思っています。腰も治りましたのでまた是非よろしくお願ひいたします。(川越 勝秀)

◇ ◇ ◇ ◇

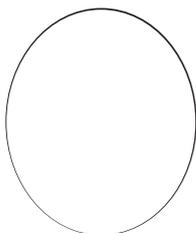
## 西 諸 医 師 会

一昨年からの相次ぐ公立病院の内科医引き上げにより当医療圏の甚大な機能低下が危惧されましたが、周辺地域の医療機関の御協力に加え当地医師会・住民および行政の団結した尽力により大過なく日常診療が継続されています。限りある医療資源を最大限有効に活用すべく、今後も一丸となってこの窮地に立ち向かっていく所存です。(坪内 斉志)

◇ ◇ ◇ ◇

## 国公立病院だより

### 済生会日向病院



よこた あきら  
横田 晃 病院長

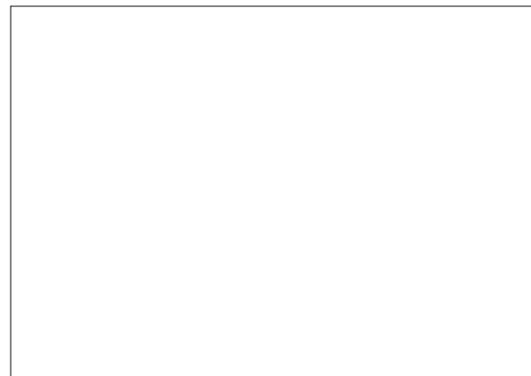
当院の設立母体である済生会は明治 44年，明治天皇の済生勅語によって創立され，本年 5月 30日に創立 100周年記念式典が天皇皇后両陛下ご臨席され執り行われた。

現在は，4都道府県に 80病院をはじめ約 400の医療機関・福祉施設を運営し，済生会設立の精神である「無料低額診療事業」，「生活困窮者支援事業」を軸とした，保健，医療，福祉を総合的に提供する社会福祉法人であり，医療法第 3条による公的医療機関に指定されている。

当院は，宮崎県済生会支部の施設として昭和 33年に設置され，国道 10号線沿いの日向市と門川町の境界に在り，行政区は門川町に位置する。病院の周囲は，かつては人家も殆ど無い芋畑であったが，現在では区画整理事業により宅地化が進み，医療圏内の殆どの地域で過疎化が進むなか，病院周辺は人口増減の比較的少ない地域である。また病院は太平洋，日向灘の海岸線に臨んでおり，病院屋上からの眺めは爽快なものである。

医療圏としては日向市以下 1市 2町 2村で日向入郷医療圏が形成されているが，本県の二次医療圏では最も広汎な医療圏となっている。人口は約 10万人弱であるがその殆どが日向市及び門川町に集中している。その医療圏にあって当院は唯一の公的医療機関であり，行政及び住民から地域の基幹病院としての要請も大きいものがある。

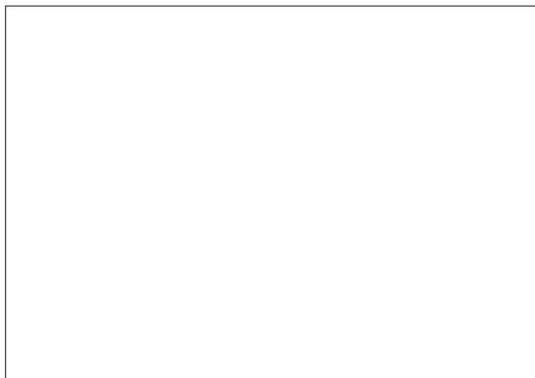
病院開設当初は結核病床や老人病床を中心に，



その時勢及び地域の要請に合った運営がなされ，また，社会福祉法人，公的医療機関としてへき地無医地区無料巡回診療事業を実施する等，比較的順調に推移した。しかし昭和 43年頃より患者の減少傾向がみられ，加えて勤務医の退職が相次ぎ，一時は院長以下 2名の医師となり病院運営の危機的な状況に陥った。当時は済生会支部業務が県庁内で執り行われていたことから，県ではこの状況を打開するため昭和 48年に済生会日向病院事業整備対策プロジェクトチームを設置。県知事が院長を招聘し病院再建に取組み，昭和 52年に病院管理棟，昭和 63年に病棟，平成 8年に手術棟，救急外来棟を建設した。また，地域の要請を受け，耳鼻咽喉科や眼科，小児科など診療科を増設。更に，病院群輪番制二次救急医療，災害拠点病院指定，感染症病床指定，更に病院敷地内に日向市が設置し当院がその運営に当たる日向地区小児夜間センターなどと病院機能の充実が図られ，現在の済生会日向病院の礎を築いた。

しかし，平成 17年度の新臨床研修制度施行に伴う内科医全員の退職は，昭和 44年の病院経営危機の再来となった。県北部医療機関における医師不足は深刻なものがあり，当院においても各診療科における医師の減員が続き，26名の勤務医が 13名に減少し，内科病棟 50床を閉鎖する等，ダウンサイズした運営を強いられてきた。

この状況が数年続き、経営危機の深刻化は益々進んでいった。



平成 2年，新院長就任を契機にリハビリ部門の充実に取組み，基準取得のためセラピストの

増員を図り，平成 2年 2月に回復期リハビリテーション病棟を閉鎖中の病棟に設置する等，積極的な運営に転換した。現在では職員数 245名（常勤医師数 14名），許可病床数 204床（一般 103床，回復期 47床，療養 50床，感染症 4床），1診療科の体制となっている。

これからも，医療圏の高齢化，過疎化が進行する時勢にあって，恵まれない人々への医療・福祉という済生会設立の理念を忘れることなく，地域住民の健康，医療，福祉を支えて地域の人々に済生会日向病院が在ることの安心感を持っていただけるように，職員一同で頑張ります。  
（事務長 かした しょうじ 柏田 章二）

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内等）  
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供  
対象：会員本人のみ

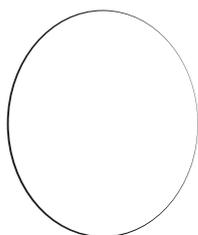
MMA通信では，東日本大震災に関する情報も随時，配信しています。  
災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

問合せ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 宮崎大学医学部だより

### 生殖発達医学講座 - 小児科学分野 -



ぬのい ひるゆき  
布井 博幸 教授

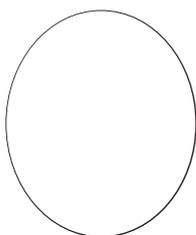
宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科学分野は、三代目である布井博幸教授が就任し1年が経過しました。慢性肉芽腫症の遺伝子診断の全国的な核施設として根付き、多くの検体が送付されております。それらの貴重な検体を利用し、診断のみならず病態解明を目指し研究が行われております。また、宮崎県の小児医療を支えるために教授をはじめとして医局員一同、日夜努力しております。新臨床研修制度導入直後は全国的な小児科離れの動きに厳しさを感じましたが、平成2年度以降は3名以上の入局者を確保できております(H21 管博美・木許恭宏・山村佳子、H22 唐澤直希・原田雅子・山田愛、H23 阪口嘉美・谷口英里奈・田中悦子・西村豊樹)。当初は小児科入局を選択肢として考えていなかった先生も当科で研鑽を積み小児科医としての厳しさも経験した上で、尚且つ我々の診療態勢を通してやりがいを感じ取ってもらえた結果と大変嬉しく思っております。また平成2年12月付で、長年にわたり循環器グループ責任者ならびに医局長を務めてきた高木純一講師が病院教授に昇任し、当教室同門で祝賀会を催しました。

現在のスタッフは、布井教授、高木病院教授(医局長)をはじめとし、盛武浩、澤田浩武の2名の講師、此元隆雄、下之段秀美(病棟医長)、池田俊郎(外来医長)、中原彰彦、近藤恭平、田中悦子ら6名の助教で構成されています。診療は、感染・免疫・膠原病、循環器、血液・腫瘍、腎臓、内分泌・代謝、神経の6グループが患児の笑顔を励みに頑張っています。現在、今村秀明が腎臓病学、澤大介が小児がん診療の更なる研鑽のために、それぞれ東京女子医科大学、九

州がんセンターへ国内留学しております。研究面においては、布井教授の感染・免疫・膠原病グループが「慢性肉芽腫症や自然免疫異常症の研究」をテーマに、慢性肉芽腫症へのサイトカインに対する抗体療法応用などを試みています。高木講師、近藤助教、久保尚美医員、大塚珠美医員らの循環器グループは「先天性心疾患術前後における心不全評価としての迅速BNP測定系の有用性」をテーマにその成果を報告しています。盛武講師、下之段助教、上村幸代医員、児嶋ひとみ医員らの血液・腫瘍グループは「小児がんにおける発がんおよび腫瘍進展の分子機構の解明」をテーマに、難治悪性リンパ腫臨床検体から新規融合遺伝子を単離し報告しました。また、臨床で遭遇するrare diseaseからcommon criteriaの確立を目標に稀有な症例の治療経験に基礎的解析を加え報告しております。此元助教、田中助教、高橋真悠子医員らの腎臓グループは「不死化ヒト系球体上皮細胞を用いた蛋白尿発症機序の解明」と「腎線維化における新規抑制分子の同定」をテーマに研究に励んでおります。澤田講師、松山美静代医員、麻田智子医員らの内分泌・代謝グループは「カルシトニン遺伝子関連蛋白スーパーファミリーの機能解析」の成果について報告しました。また、「高チロシン血症を示す新生児における最終診断への診断プロトコールと治療指針の作成に関する研究」に参加しています。池田助教、中原助教、長野理恵医員らの神経グループは「難治性てんかんの加療と重症心身障害児の管理方法」をテーマに特異な経過をとった症例を報告し、またアレイCGHの神経疾患患者への応用を検討しています。

最後に、当小児科教室は今後も宮崎県小児医療の更なる充実のため、そして1例1例の症例を大切にするという臨床へのモチベーションを維持し、病因究明・治療のための研究も行い、患児の利益に繋がっていくトランスレーショナルリサーチを目指し、医局員一同頑張っていく所存でございます。今後とも医師会の先生方の変わらぬご指導、ご鞭撻の程を何卒宜しくお願い申し上げます。(講師 盛武 浩)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 眼 科 医 会 )



しばた ひろし  
柴田 博 会長

まず初めに、東日本大震災で被災された多くの方々に御見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。

県眼科医会の活動として、一般県民に対しては、平成22年10月10日に県立宮崎病院眼科の中崎先生による目の健康講座「まるわかり緑内障 知らないと怖いその秘密」と眼科医5名による目の健康相談を開催しました。約150名の県民の皆様が受講され、そのうち55名が目について相談されました。

眼科医に対しては、平成22年4月、6月、10月、12月、平成23年2月と講習会を開催しました。講師としてお越し頂いた先生方は、4月 稲谷大先生(熊本大学)、湯澤美都子先生(日本大学教授)、6月 三田村佳典先生(徳島大学教授)、山川良治先生(久留米大学教授)、10月 酒井實先生(琉球大学)、志村雅彦先生(NTT東北大学)、12月 大谷篤史先生(京都大学)、園田康平先生(山口大学教授)、2月：澤田惇先生(宮崎大学名誉教授)、植田喜一先生(山口大学臨床教授・ウエダ眼科院長)です。

眼科従業員に対しては、平成22年4月、5月、平成23年2月に講習会を開催しました。

眼科医をとりまく医療は大変厳しく、全国の眼科医数は約1.3万人と医師総数(約26万人)の約5%を占めておりますが、厚生労働省により医療費は約1兆円と総医療費36兆円の2.7%に低

く抑えられています。眼科医の占める割合が5%で収益が2.7%、おかしくありませんか?ここ10年、眼科の総医療費が1兆円を超すと、2年毎の診療報酬改定で厚生労働省により9,500億円に減額されております。我々眼科医にとって、この1兆円の高い壁があります。その典型的な例として、白内障の手術においては患者数は年々増加しているにもかかわらず、ここ10年間で白内障関連の医療費は4,100億円から2,500億円と約40%削減されました。これらは、眼科医の割合5%は多すぎるという厚生労働省の考えにより、眼科医療費を低く抑えることにより眼科医数を削減するためです。

また、厚生労働省の「眼科医数の削減」方針をもとに、上記のごとく眼科医療費を削減したため、新眼科医数は年々減少傾向で、23年度は全国で218名と同年新医師数の2.5%ほどです。幸いなことに、宮崎県では22年度は5名、23年度は4名の新眼科医を新たに迎えることができました。

東日本大震災への義援金につきましては、平成23年9月15日現在、日本眼科医会受付状況として1,102件、111,671,608円の義援金をいただいております。県眼科医会としても、微力ですが支援させていただきました。引き続き、ご協力させていただきたいと思っております。

被災された皆様、これから厳しい冬を迎えますが、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今後とも、皆様方のご指導ご支援を宜しくお願い致します。

## 薬事情報センターだより ( 293)

## 新薬紹介( その 50)

今回は 7月に薬価収載された経皮吸収型持続性疼痛治療剤ノルスパンテープ 5mg・10ng・20ng (一般名 プレノルフィン)と膵消化酵素補充剤リパクレオンカプセル 150ng・顆粒 300ng分包 (一般名 パンクレリパーゼ)について紹介いたします。

ノルスパンテープ 5mg・10ng・20ng (一般名 プレノルフィン)

プレノルフィンは、1966年にイギリスの Reckitt& Co. m an 研究所でアヘンアルカロイドの一種であるテバインから半合成されたオピオイドであり、中枢神経系の $\mu$ オピオイド受容体に作用してその鎮痛作用を発揮します。

本剤は、デンマークで 2003年に承認されて以来、2010年 7月現在、世界 30か国で承認されています。本邦においては、2011年 2月に「非オピオイド鎮痛剤で治療困難な変形性関節症および腰痛症に伴う慢性疼痛における鎮痛」を効能・効果として承認され、8月に発売されました。なお、日本では、他のプレノルフィン製剤は「がん性疼痛の鎮痛」に対する適応がありますが、2011年現在、ノルスパンテープは「がん性疼痛の鎮痛」に対する適応を有していません。

変形性関節症及び腰痛症に伴う慢性疼痛のある日本人患者を対象にした国内臨床試験において、803例中 743例( 92.5%)に副作用( 臨床検査値異常を含む)がみられました。主なものは、悪心( 62.5%)、嘔吐( 35.7%)、便秘( 33.7%)、傾眠( 30.3%)等でした( 承認時までの集計)。また、重大な副作用として呼吸抑制、呼吸困難、ショック、アナフィラキシー様症状、依存性があらわれることがあります。

なお、本剤を処方できる医師は、本剤の適正使用講習 e-learning を事前に受講し、「受講済み医師」としてデータベースに登録された医師のみとなっています。

リパクレオンカプセル 150ng・顆粒 300ng分包 (一般名：パンクレリパーゼ)

パンクレリパーゼはブタの膵臓から精製した膵酵素であり、高力価のアミラーゼ、リパーゼ及びプロテアーゼを含有しています。日局パンクレアチンと比較した単位重量当たりの力価として、製剤ではリパーゼで約 8.4倍、プロテアーゼで約 7.0倍及びアミラーゼで約 6.5倍の力価を有します。消化管内においてデンプン、脂肪及び蛋白質を分解し、消化吸収率を増加させます。日本では初となる非代償期の慢性膵炎、膵切除、膵嚢胞線維症等に伴う膵外分泌機能不全に対する膵酵素補充療法に用いられる薬剤です。

パンクレリパーゼは胃の酸性条件下では失活するため、失活を防ぐために腸溶性剤皮が施されています。さらに、胃内で食物と良く混和し、食物と共に速やかに十二指腸に排出されるのに適した粒径(MMS製剤)となっています。

剤型としては、顆粒を充填したカプセル剤と小児、高齢者など服用が困難な患者さんの利便性を考慮した顆粒の分包品があります。カプセル製剤は 1995年にドイツで承認されて以来、80か国以上で承認されています( 2010年 10月現在)。また、分包装剤はドイツ及びオーストリアで発売されています。本邦においては、2011年 4月に「膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充」を効能・効果として承認され、8月に発売されました。

主な副作用としては、便秘、下痢、発熱、腹部膨満、高血糖などが報告されています。

## 参考資料

ノルスパンテープ 5mg・10ng・20ng, リパクレオンカプセル 150ng・顆粒 300ng分包  
各添付文書・インタビューフォーム

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 各種委員会

## 医学会誌編集委員会

と き 平成 23年 9月 5日(月)

ところ 県医師会館

上田理事より開会，協議が行われた。

協 議

1. 第 35巻第 2号のカテゴリーについて  
掲載論文 1編からなる第 35巻第 2号のカテゴリーの検討が行われ，総説 2編，臨床研究 2編，症例 2編，診療 2編，地域医療 2編，クリニカルカンファレンス 1編が決定した。

2. 第 35巻第 2号の編集後記担当について  
菊池委員長と谷村委員が執筆することになった。

3. 総説の依頼について  
第 36巻第 2号総説の執筆依頼については，委員長へ一任することが承認された。

出席者 - 菊池委員長・長友・西口・山田・古川・森・春田・松本・上園・稲津・松岡・河野・阿南委員  
(県医) 富田副会長，上田・直井理事，杉田課長，三田係長

## お知らせ

平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では，日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し，医療事務に必要な知識，最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに，医療機関の今日的な使命を自覚し，誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度，医療事務職員採用のご予定がございましたら，何卒，県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお，求職に関するお問い合わせ等につきましては，直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 23年 9月 29日現在)

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 8 名 (女 8 名)	就職希望者 16名 (男 2 名，女 14名)	就職希望者 9 名 (女 9 名)
連絡先： 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当：佐土原 敦 谷口 和子	連絡先： 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当：福元 進	連絡先： 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当：谷上 智子 中山さおり 吉原真由美

## 平成 23年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会

と き 平成 23年 8 月 6 日(土)

ところ 大分全日空ホテル

### 1. 心臓部門 座長：吉永 正夫( 鹿児島県 )

#### 報 告

#### 1) 九州各県における学校管理下の心臓性突然死( 平成 22年度 )について( 福岡県 )

九州各県で毎年継続調査中であり、熊本県では高校生女子 1 名( 基礎疾患：筋強直性筋ジストロフィー )、友人と歩行中、突然痛いと声をあげて亡くなった。基礎疾患有なので、ある程度の予測がついていたかもしれない症例であった。大分県では、小学生女子 1 名、最終的に心筋炎と診断されている。60mほど小走りして目的地にたどり着いたとたん脱力して倒れ、死亡した。倒れた後、意識は不明瞭で、あくびを繰り返していた。死亡する前の数日間に鼻炎の薬の服用があったことから、ウイルス性感染症が前にあったことは否定できないということであった。また、鹿児島県では、高校 1 年男子が健康であったがランニング後倒れ、心停止で病院に運ばれ、その後いろいろな蘇生を受けたが亡くなっている。

福岡県から、W H O の突然死の定義は「発症から 24 時間以内の内因性の死」であるが、A E D や蘇生技術の高度化もあり、日本スポーツ振興センターは発症から相当期間を経て死亡に至ったものも突然死としている。高校生は部活のある午前の早い時間と夕方に、中学生は午後の部活時間に突然死のピークがある。突然死の頻度は明らかに小学生よりも中学生、中学生よりも高校生

と高くなっている。心臓性の突然死は減ってきてはいるが、ニアミスがどうしてもある。ニアミスを見逃した統計だけではよくないと思うので、11月の協議会ではこのことについても討議して欲しい。

#### 2) 心臓病調査票および学校心臓病精密検査受診票・成績表の統一に向けた共有化について( 福岡県 )

昨年 11 月の心臓専門部門で協議された「学校心臓検診の受診票( 検査結果の報告書 ) のブロック内統一」については、継続して検討を行い、統一様式を作成していく。

#### 協 議

#### 1) 学校心臓検診受診票作成の方針について ( 鹿児島県 )

##### 提案理由

日本学校保健会が出版している「学校心臓検診の実際」の全面改定が予定されている。九州管内だけでなく、全国標準のものの作成を検討できないか各県の意見を伺いたい。

#### 2) 心臓検診時の統一病名について( 鹿児島県 )

協議事項 1 )、2 ) と一緒に取り扱う。

##### 協議内容

受診票は、九州で統一したものを使用していこうとのことで、既に、福岡県のものを使用している県も複数あるが、統一化には前向きに検討していくことになった。

#### 3) 心室内伝導遅延( M C D )について( 佐賀県 )

##### 提案理由

佐賀県では、平成 23 年度の完全右脚ブロ

ックの出現率が、小学 1 年 0.09%、中学 1 年 0.27%、高校 1 年 0.74%、心室内伝導遅延の出現率が、小学 1 年 0.03%、中学 1 年 0.32%、高校 1 年 1.83%であったが(左脚ブロック例はなし)、エコーなどでは特に異常を認めなかった。各県での IV CD の取り扱いについて、現状をご教示いただきたい。

#### 協議内容

長崎 - 右脚ブロックと同じ取り扱いでやっている。

熊本 - ガイドライン通りにやると非常に多いので、判定によって落としたり二次にまわしたりしている。

大分 - 右脚ブロックは、数としてはあげるが、IV CD は原因疾患が無いものはそのままにしている。

宮崎 - 右脚ブロックは大分と同じような対応で、エコーをあてるようにしている。

鹿児島 - 完全右脚ブロックは必ず呼び出すが、QRS の巾がかなり長い、他の所見がなければ拾っていない。

福岡 - 右脚、左脚ブロックは拾って心筋疾患というものを除外する目的でエコーを推奨しているが、IV CD は一定の方針はなく、抽出されたものも担当医個人の判断に任されている。

4)「QT 延長(コード 9 -7 -1)」に対する学校心臓検診としての対応(福岡県)

#### 提案理由

児童生徒が突然死する原因のひとつに「QT 延長症候群」があり、児童生徒の QT 延長に起因する不整脈発作によるニアミス、不可逆の後遺症、さらには突然死といった事例に遭遇し、心臓検診班としてその対策に苦慮している。学校心臓検診は、平成 20 年に日本学校保健会から発表された「学校心臓検診の実践」による心電図判定基準に準じて行

われているが、その QT 延長の判定には Bazett 式と Fridericia 式が併記されている。二者択一的議論としては、前者では「QT 延長症候群」を抽出しきれない事例が報告される一方、後者が明らかに前者に比べて優れるという評価を得るには至っていない。実際は後者を押す意見が多いとされる。福岡市でもダブルスタンダードを避け、Fridericia 式の採用に傾いている。検診の一次検診では医師、検査技師、事務職の作業の単純化は重要で、コンピュータによる自動解析は欠かせない。Fridericia 式を全面的に採用するにはハードの整備をクリアしなければならない。各地域の実情をお尋ねしたい。

#### 協議内容

佐賀 - 現状では平方根で判定している。3 乗根に対応する心電計の導入を検討中で、次年度から採用予定である。現状は QTc で 0.46 辺りからと、T 波の形を見て決めている。

長崎 - 佐世保市内では Fridericia で行っているが、その後のドクター判定において一定の基準がなされておらず、今後検討していきたい。

熊本 - 平成 22 年度から Fridericia で行っている。学年関係なく 0.45 でひっかけている。心電図を 12 誘導に替えた。

大分 - 心電図収録時に QTc が延長していたら検査技師が再収録し、それでも QTc が延長していたら医師に判定してもらう。あまりまとまりが無く限界的なものを見ながら判読をしている。

宮崎 - 昨年、Bazett と Fridericia が併記して表示される日本光電の心電計を購入した。Fridericia で抽出されることが多いが、コンピュータ任せにすると拾いすぎる傾向があったので、今年は判読会で 95 名から 1 名までふるい落としを行うことができた。

福岡 - 県はFridericia式を、福岡市ではダブルスタンダード(Bazett式とFridericia式)をそのまま採用し、抽出したのち医師2名で手動計算している。ニアミス例の経験から、HR 75で分けるBazettを用いた基準では不都合を経験している。一次抽出から、二次・精密検診(医療)にわたる診療のアルゴリズム確立が求められていると考える。現在、QT延長に関する説明文書を吉永先生からいただき、それを元にA4裏表の資料を作成し、抽出した患者の検診のあり方を系統立てて検討中である。

鹿児島 - 今日提出の論文2枚を参照いただきたい。鹿児島県は1995年からFridericiaに近い0.3乗でスクリーニングしており17、18年間やってきたが問題は生じていない。昨年Fridericia法によるスクリーニング法がCirculation Journal誌に採択されたので、今後はこの基準でやっていく方針である。QTcのスクリーニング値としては小1、中1、高1で異なる基準を使用している。

出席者 - 高村県医学校医部会理事、小川課長

## 2. 腎臓部門 座長：服部 新三郎(熊本県)

### 報 告

#### 1) 蛋白尿検出精度について(続報)(長崎県)

長崎県内の検査機関で行う一次検尿はライフスティックスを使用することで統一したが、二次検査は栄研のウロペーパーを使っているところもあり統一されていない。長崎ではライフスティックスを使用した場合、1+以上で蛋白陽性、1+より下は-として判定している。今回の検体は長崎市医師会検査センターの2次検尿で採取されたものを使用している。昨年の調査では、定量値がかなり高いものでも±もしくは1+で

しか反応しないことがあったが、スクリーニングとして考えると高い方の乖離はあまり問題にならず、取りのがしを防ぐことに重点が置かれるべきである。定量と定性の結果は表の通りである。ウロペーパー(読み取り機で判定)とライフスティックス(目視で判定)では、両方とも多少の幅はあるが、±で見逃すのは1%程度である。しかし一次での1%の見逃しが最終的にどれくらい響くかを考えると、1万人で100人の見逃しとなる計算となる。これまで通り+で判定しても問題ないと思うが、カットオフにより1~2%程度の見逃しが生まれるという結論であった。また、試験紙の違いによる差はほとんどないと考えられる。

2) 各県の一次検尿・二次検尿の対象者数、受検者数、定性各項目のカットオフ値の調査(鹿児島県)

3) 九州各県全域における学校検尿に関する調査結果について(熊本県)

同じ内容なので資料を確認し、問題があれば1月の専門委員会へ持ち越し検討する。

4) 九州学校腎臓病検診マニュアル第3版の改訂について(鹿児島県)

マニュアルの改訂理由を各委員にお知らせする。1月の専門委員会の前に目を通してもらい、意見を集約して協議・検討する。

5) 九州でのデータ集計の現状について

(福岡県)

資料を確認し各県で検討いただきたい。

### 協 議

1) 来年度実施する学校検尿体制アンケート案について(鹿児島県)

#### 提案理由

昨年の本委員会で決定された上記アンケート案を、熊本県の調査票を基に、宮崎県、鹿児島県で案を作成したのでご検討をお願い

いしたい。

#### 協議内容

前回の調査は、10年以上前に、宮崎県が九州各県の都市医師会に直接発送し集計も行った。前回の調査と整合性が取れるような内容にし、学校検尿のデータ集積時に併せて提出してもらおうと考えている。地域の事情を把握している各県医師会を通じて各都市医師会や市町村に依頼し、集計も各県でお願いして、結果を宮崎県の宮田委員に報告する。宮崎県の宮田委員と鹿児島県の二宮委員にご協力いただき、内容を検討し、11月の専門委員会でも再度検討する。

#### 2) アンケート調査結果のデータ管理について(熊本県)

##### 提案理由

腎臓病検診マニュアルは鹿児島県、データ集計は福岡県と、管理がばらばらなので、一括して管理する方がよいのではないか。

##### 協議内容

福岡県メディカルセンターにて保存できるかどうか、保存方法や情報公開の程度を含め11月の専門委員会までに検討する。

出席者 - 宮田県医学校医部会理事，高山主事

#### 3. 小児生活習慣病部門

座長：田崎 考(佐賀県)

#### 1) 各地区の糖尿病検診の実情と結果について(佐賀県)

##### 提案理由

医師会がどの程度関与していますか。また、その結果を把握しているのかご教示いただきたい。

##### 協議内容

学校検尿を利用した糖尿病検診を中心に意見交換を行った。各県とも一次検診データは入手しやすいが、民間の検査センター

に委託している市町村では把握が難しいという県もあった。二次検診以降は県全体で把握しているところはなく、都市医師会レベルで把握しているところも少ない。データ入手の方法がシステム化されておらず、二次検診医療機関が指定されている場合はデータを集めやすいが、そうでない場合は医師個人のつながりで情報収集せざるを得ない状況であった。また、未受診者に対する受診の働きかけについても問題点としてあがった。

#### 2) 血液一般検査での、貧血の測定について(大分県)

##### 提案理由

貧血は、血液一般検査で、従来RBC、Hb、Htにて判断されているが、現在の測定はほとんどが機械化されており、MCV、MCHの項目は自動的に計算されてきている。これらの項目を加えることは有用である。また、貧血の分類では、大球性、小球性、高色素性、低色素性に分類されるが、Fe、Zn、欠乏症では、小球性、低色素性貧血を示すことは周知である。一方、食物アレルギーによる過度の食事制限、摂食障害では、大球性、高色素性貧血を示し、Se欠乏、甲状腺機能低下；FT₄ FT₃への転換障害を示す症例が見出される。学校検診では項目の追加、変更は容易ではないことは理解しているが、各県どのように考えられるか。

##### 協議内容

貧血検査の有用性は認めるが、貧血検査をするためには採血をしなければならない。学校検診の現場で採血をするためには乗り越えなければならない課題が多く、容易ではないのではないかという意見が多かった。

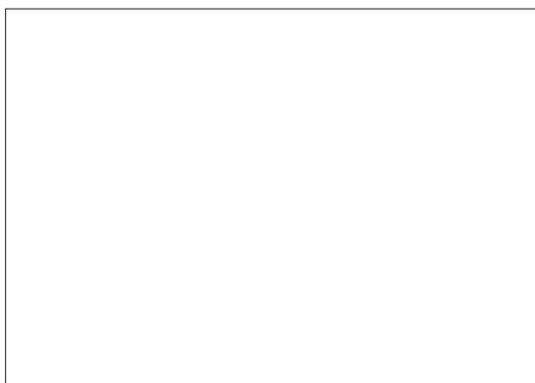
出席者 - 佐藤常任理事，久永課長補佐

## 第 55回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 23年度学校検診協議会(年次大会)

と き 平成 23年 8月 6日(土)～ 7日(日)

ところ 大分全日空ホテルほか

メインテーマ 「環境の変化とからだ -いま, 学校現場に何を求められているのか -」



8月 6日, 7日に大分市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。

7日午前中に開催された平成 23年度九州学校検診協議会では, 心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演, 眼科・耳鼻咽喉科・運

動器の各部門では分科会が行われた。

午後からは九州ブロック学校保健・学校医大会総会が開催され, 日本医師会長(代読), 大分県知事, 大分市長の挨拶の後, 「学校におけるアレルギー疾患対策」をテーマにシンポジウムが行われた。はじめに大分大学医学部地域医療・小児科分野担当教授松聖悟先生の基調講演があり, その後, 養護教諭, 保護者, 学校医, 行政, 学校栄養士の立場からそれぞれ発表があった。食物アレルギーがある児童に対して, 除去食・代替食への対応が学校により違う問題, 最先端の設備を誇る由布市給食センターの取組み, 食後の運動によって惹起される食物依存性運動誘発性アナフィラキシーや多種食物アレルギーの症例の発表等が行われた。アレルギーを持つ子どもたちが安心・安全に学校生活を送るためにそれぞれの立場で努力していかなければならない等の意見が出された。

## 平成 23年度九州学校検診協議会幹事会

九州医師会連合会長の佐賀県池田会長, 九州学校検診協議会長の福岡県松田会長より挨拶の後, 慣例により, 松田会長が座長に選出され, 協議に入った。

1. 平成 22年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県の原口理事より事業報告並びに決算について報告があった。

2. 平成 23年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県の原口理事より報告があり, 全会一致で承認された。

3. 平成 23年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会について  
幹事に先立って行われた同委員会について、各部門より報告があった。

出席者 稲倉会長，富田副会長，佐藤常任理事，  
宮田・高村県医学校医部会理事，  
大重事務局長，小川課長，  
久永課長補佐，高山主事

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

大分県嶋津会長，日本医師会横倉副会長の挨拶があり，慣例により，嶋津会長が座長に選出され協議に入った。

### 協 議

1. 麻しん排除目標達成のための体制について  
(福岡県)

国立感染症情報センターの報告によると，麻しん発生状況は，平成 23年第 23週で前年同期に比べて 27.9%増加しており，平成 24年度麻しん排除目標の達成は困難であると思われる。各県から予防接種率等の報告があり，日医の見解が述べられた。

日医石川常任理事 - 人口 100万人に 1.0人以下が麻しん排除状態と定義されているが，平成 23年度に増えている状況を考えると平成 24年度の目標達成は困難であると思う。夏休みを利用して接種するよう文部科学省が啓発をしたり，日本医師会も厚生労働省と一緒に予防接種週間で接種率を上げようとしているが，なかなか上がらない。高校 3 年生など年齢設定のまずさも感じる。個人的には中 1，高 3 といわず，日本脳炎のように幅広い対象年齢で接種できればと思っている。

2. 学校欠席者情報収集システムの活用状況と課題等について(鹿児島県)

感染症による欠席者情報の早期把握や，児童生徒の感染症予防への迅速な対応等を図る

ため国立感染症研究所感染症情報センターが開発した「感染症による学校欠席者情報収集システム」について，各県の導入・活用状況などについて意見交換をした。九州では佐賀県，長崎県，大分県が導入しており，そのメリット・デメリットが挙げられた。なお，鹿児島県では今年度からの導入が決まっており，宮崎県は検討中である。

日医石川常任理事 - このシステムは病名も入力できるし，定点医療機関からの情報が一週間遅れであるのに比べて迅速に情報の共有化が図られ，広がりを感じる。ただし，教育委員会によってはやらないと言っているところもある。養護教諭に新たな業務をお願いすることは難しく，過大な要求をすとかえってやってくれない。養護教諭と学校医がこの事業の重要性を理解するのが大事なことである。

### 中央情勢について

日医石川常任理事 - 学校保健法から学校保健安全法に名称が変更し，学校保健安全法への十分な実践がより一層求められている。また，今回の東日本大震災による放射能汚染は福島県だけの問題ではなく，今後日本を支えていくすべての子どもたちの健康にずっとついて回る問題である。放射能汚染問題への取り組みを，福島県だけでなく各学校で取り入れ，す

すべての子どもたちに正しい知識を伝えなければならない。また、国のきちんとした保障も必要である。

感染症対策については、正しい知識を健康教育の中に取り入れ、子どもたちにライフスキルを身に付けさせることが重要であり、PTA や学校教諭も、正しい指導知識を身に付ける必要がある。また、PTA や学校教諭向けに、来年の3

月までに「学校で予防すべき感染症」の改訂版が文科省から発行される予定である。

出席者 稲倉会長，富田副会長，佐藤常任理事，  
大重事務局長，小川課長，  
久永課長補佐，高山主事

## 平成 23年度九州医師会連合会学校医会評議員会

大分県嶋津会長の挨拶の後、嶋津会長が議長選出され議事が進行された。

### 報 告

- 1．平成 22年度九州医師会連合会学校医会事業について( 鹿児島県 )
- 2．平成 22年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について( 鹿児島県 )

鹿児島県鮫島理事より資料に基づき報告があり、1、2とも承認された。

- 3．平成 23年度九州医師会連合会学校医会事業経過について( 大分県 )

大分県藤本常任理事より資料に基づき報告があった。

### 議 事

第 1 号議案：平成 23年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件( 大分県 )  
大分県の藤本常任理事より説明があり、原案どおり承認された。

第 2 号議案：平成 23年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件( 大分県 )

大分県の藤本常任理事より、前年度と同額の負担金をお願いしたいとの提案があり了承された。その後予算案説明があり、審議の結果原案どおり承認された。

第 3 号議案：第 56回・第 57回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件( 大分県 )

第 56回開催を福岡県担当で決定し、第 57回開催を沖縄県担当に内定したい旨の提案があり、承認された。

出席者 稲倉会長，富田副会長，  
佐藤常任理事，大重事務局長，  
小川課長，久永課長補佐，高山主事

## 「新春随想」原稿募集

平成 24年 1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等( 1枚のみ, カラー印刷はできません )  
も掲載できます。

字 数 800字以内( 字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあります )  
りますのでご承知ください)

締 切 平成 23年 12月 9日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。

掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨  
ご指示下さい。

日州医事は, 会員以外( マスコミ・行政・図書館等 )にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス( genko@m iyazaki.m ed.or.jp )宛お送りください。もちろん, それ以外の方法( FAX, 郵便等 )でお送りいただいても構いません。

「新春随想」である旨とタイトル, ご氏名を付記して下記の宛先にお届けください。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@m iyazaki.m ed.or.jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は, 他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」  
である旨とタイトル, ご氏名を明記の上お送りください。

## 職員紹介(その5)

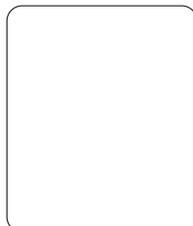
## 医師国民健康保険組合



課 長  
いとう ひでみ  
伊東 英美

(会計)

医師国保、医師会、協同組合を巡り巡って4月より医師国保の担当をさせていただいております。諸先輩方がお辞めになり、いつのまにか最古参になってしまいました。医師国保を取り巻く状況は大変厳しいものがございまして、事業仕分けによる補助金カットの問題。法改正が必要となっておりますが、先行きがどうなるのか分からないような状況です。そのような中で、残り僅かな期間、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



嘱託職員  
もりなが ちかこ  
森永 千佳子

(レセプト点検、保健事業関係、医療費に関する諸統計)

医師国保にお世話になりました2年目になります。主な業務は、レセプト点検、保健事業関係、医療費に関する諸統計等をさせていただいております。まだまだ慣れないことが多く緊張の連続ですが、一生懸命努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。1月には毎年恒例の「歩こう会」が計画されております。皆様にお会いできることを楽しみにしております。



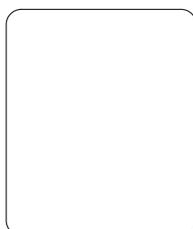
係 長  
ながた しゅうこ  
永田 彰子

(庶務・会計)

4月より医師国保へ異動になり、勤務年数としてはお局級ですが、国保の新人として諸先輩方の指導を仰ぎながら、日々の業務に努めさせていただいております。組合員の先生方にご迷惑をお掛けしないよう処理等迅速に行えるよう努力して参りたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

1月には歩こう会も開催いたしますので、会員の先生方、ご家族方の多数の参加をお待ちしております。

## 医師協同組合・(有)エム・エム・エス・シー(MMSC)



事務次長兼課長  
えのもと しんじ  
榎本 慎司

(医師協同組合：業務全般)

平成 23年 10月 1日付人事異動により県医師会経理課長から参りました。医師協同組合は2年半ぶり2回目となります。新たな気持ちで頑張りたいと思っております。ご指導よろしくお願いいたします。



課 長  
いわむら しげのり  
岩村 繁徳

(保険業務)

MMSCに来て早7年が経過しました。MMSCでは医師協同組合で取り扱いのできない生損保の代理店業務を営んでいます。組合員の皆さまに「より良い商品」を「より安く」提供し、事故処理には迅速かつ適正な処理をこころがけています。生命保険分野では、「リスラボ社と提携し「奥様医業経営塾」と「管理表無料作成サービス」を展開し好評をいただいております。損害保険分野では、今年7月から組合員の皆さまの他に従業員の方にも集団扱(5%引適用)の自動車保険をご案内しております。無料見積もりサービスですので、多くの方のご利用をお待ちしております。



係 長  
おおの まさひろ  
大野 正博

( 保険業務 )

医師協同組合から県医師会( 経理課 )へ異動し、再度医師協同組合に異動となり1年半が過ぎました。保険業界は非常に厳しく、内容等の改正も頻繁に行われており覚えるのに日々勉強の毎日です。「組合員の気持ちになって」をモットーに取り組んで行きたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。



主 事  
たけもと のぶよ  
竹本 伸代

( 協同組合：購買事務 )

消耗品、カタログ販売等を担当しております。早いもので、今年で5年目になりました。

今更ながら、正確な事務処理をすることの大切さを痛感しております。また、通常の事務処理にも慣れ、改善すべき点を見つけて改善できる余裕が出てきたように感じております。

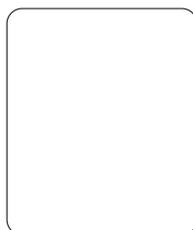
会員の皆様に満足していただけるような医師協同組合を目指しておりますので、よろしくお願いいたします。



係 長  
やすい じゅんこ  
安井 順子

( 経理全般，庶務全般 )

気がつけば10月になり、あっという間の一年ですが、毎日どうやって何をして過ごしてきたのかなあ...と思い起こせないことがあります。それではいけないと思い、一日一日を大事にするためにも日記を付けるようにしました。休日などだらだらと無駄に過ごしている日ももちろんありますが、時々読み返すと、ちゃんと毎日を過ごしていることを実感します。



主 事  
りきえ みちひろ  
力衛 通裕

( 協同組合：購買事務 )

昨年度採用、主に書籍購買サービスを担当させていただいております。昨年はただ業務をこなすことに必死で、組合員の先生方にお会いする機会をなかなか持てませんでした。今年から、直接訪問をさせていただき組合員の方々の生の声を聴いて回りたいと思っております。微力ではありますが、「医協があるから安心」と思っ

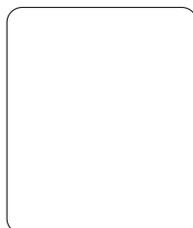
ただけるよう努力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



係 長  
わたなべ じゅんこ  
渡邊 純子

( 保険業務：事務 )

地区のミニバレーボールチームに加わって、週に一度、地元の方々と汗を流しています。参加される方々の年齢層も幅広く、いろいろな方と交流ができるので、心も体もリフレッシュ出来ます。最近はテレビや雑誌などでいろいろな体操やダイエット法が紹介されていますが、いいなと思って覚えても、残念なことに3日後には忘れてしまいます...



課 長  
あたえ としひろ  
與 俊弘

### 県医師会経理課

( 経理全般 )

平成 22年 10月 1日付で宮崎銀行より出向で参り、23年 7月転籍、正職員とさせていただきます。当初、宮崎県医師協同組合へ出向。10月から県医師会経理課へ異動となりました。公益法人への移行、新会計基準等ありますが、一つずつマスターしていきます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 日医 FAX ニュースから

### 健保組合、過去 2 番目の

4,154億円赤字

10年度決算見込み

健保連は9月8日、2010年度の健保組合決算見込みを発表した。健保組合全体(145組合)の経常収支は4,154億円の赤字で、過去最大の赤字額となった09年度(5,234億円)に次ぐ赤字額となった。

10年度の経常収入は前年度比1.84%増の6兆2,854億円、経常支出は0.08%増の6兆7,008億円でほぼ横ばいだった。全組合の約3割を占める41組合が保険料率を引き上げたことと、リーマンショックからの景気回復に伴う平均標準賞与額の増加が保険料収入の増加につながり、赤字幅を前年度より減らす要因となった。

支出での法定給付費の総額は3兆4,449億円(前年度比3.01%増)で、被保険者数・被扶養者数が減少したにもかかわらず過去最高額となった。保険料収入に対する義務的経費(拠出金・納付金などと法定給付費を合わせた額)の割合は99.1%で、全組合の約5割に当たる69組合が義務的経費を保険料収入では賄えない状況だ。

1,000万円以上の高額レセプトは174件

また、同日の記者会見で健保連は、10年度に実施した「高額医療給付に関する交付金交付事業」に申請された事案のうち、1か月の医療費が1,000万円以上だったものが過去最高の174件で前年度より19件増加したことを明らかにした。174件の疾病別の内訳は循環器系疾患88件(51%)、血友病41件(24%)、悪性腫瘍13件(7%)、その他32件(18%)だった。(平成23年9月13日)

### プラス改定に意欲

小宮山厚労相

小宮山洋子厚生労働相は9月12日、専門紙記者クラブの共同会見で、来年度の同時改定につ

いて「少しでも上積みしたい」と述べ、プラス改定に意欲を示した。同時改定延期論が出ている中で改定を実施するつもりがあるかと記者団に問われ、小宮山厚労相は「6年に1度の同時改定。社会保障改革全体にとっても大きなテーマの一つであり、やらなければいけないと思っている」と明言した。

改定率については「予算編成作業で決定されるため、今の時点で改定の方向性について申し上げることは難しい」と慎重に言葉を選んだが、野田佳彦首相が就任直前に「基本的にマイナス改定はない」と発言したことを記者団に指摘されると、「なるべく今までの方針に沿ってやりたいと考えており、(マイナス改定はないという野田発言についても)そういうことだ」と述べ、プラス改定に前向きな姿勢を示した。その上で「今の苦しい財政状況の中で大きくプラスということはあり得ないが、少しでも上積みしたいという気持ちだ」と現在の心情を明かした。

同時改定のポイントについては「医療・介護施設の機能分化の推進、地域での連携体制の構築、地域包括ケアの実現に向けた在宅医療や介護の充実などに取り組む必要がある」と述べた。

介護職員の待遇改善策については「介護職員処遇改善交付金の実施で、従来より平均給与額が増加し、介護分野の有効求人倍率も低下した。ただ、今の給与引き上げの半分ほどは一時金の支給によるもので、継続性が弱く、依然として離職者が多い。これを踏まえて予算編成過程で検討したい」と述べた。

今後の待遇改善策について、交付金を制度上に位置付けて対応するか、あるいは介護報酬で評価するか、どちらを選ぶかについては「まだ結論が出ていない」とした。(平成23年9月16日)

### 「定額負担」の導入に反対決議

国民医療推進協

医療関係団体4団体でつくる国民医療推進協議会は9月23日、東京・本駒込の日本医師会館で総会を開き、受診時定額負担と医療への株式

会社参入に反対する決議を採択した。12月9日には、公的医療保険制度を守るための国民集会として「日本の医療を守るための総決起大会」を開催することも決めた。

原中勝征会長(日医会長)は「安全安心の国民生活を送ってもらうことが大事」と強調した。「保険制度では窓口負担は原則としてない方がいい」とし、受診時定額負担については「お金のない人までさらに負担を求めることはできない」とした。財源が必要であれば、保険料や税負担に求めるべきとした。「政権に対して、専門家としての集約した意見を提示できるかが大事」として団結を呼び掛けた。

近藤勝洪・日本歯科医師会副会長は「非常に重大な事態。低医療費の患者であればあるほど大きな負担になる。3割負担をはるかに超える。今、行動を起こす時だ」と述べた。児玉孝副会長(日本薬剤師会長)は「内閣が替わり、一体改革の案が煮詰まってくる。煮詰まる前にこそ、国民の立場に立った意見を言えるようにしたい」と述べた。草間朋子・日本看護協会副会長は「国民の立場、患者の立場に立ってさまざまな形で発言していきたい」とした。

中川俊男・日医副会長は受診時定額負担の問題点を説明。社会保障・税一体改革成案は「閣議報告」に過ぎないとして実効性を疑問視した。受診時定額負担はいわゆる保険免責制よりも自己負担が増えるとし「医療保険がカバーする範囲が変わらないというのは詭弁」と指摘した。「給付の割合については、将来にわたり100分の70を維持する」とした健康保険法の付則にも抵触するとした。医療分野での規制制度改革や環太平洋経済連携協定(TPP)の流れにも警戒感を示し「お金がなければ医療が受けられない時代が本当に来る」と反対する姿勢を強調した。

総会では国や都道府県単位での活動計画を決めた。都道府県医療推進協議会主催の地域集会開催と決議採択 地方議員・議会に対して、国会に意見書を提出するよう要望 国民集会へ

の参加協力依頼などを盛り込んだ。横倉義武・日医副会長は「受診時定額負担が残り続けるならば、署名活動の実施も検討する」とした。

(平成23年9月27日)

## 仕入税額控除できる課税制度に 日医・四病協が共同で要望

日医と四病院団体協議会は税制改正に関する共同要望書をまとめ、9月21日の民主党厚生労働部門会議のヒアリングで、それぞれ提出した。

医療機関が医薬品・医療材料などを仕入れる際に負担している控除対象外消費税について、仕入税額控除が可能な課税制度に改めるよう求めるとともに、患者負担を増やさないよう要望した。診療報酬への課税制度を導入する場合には、医療は「消費」ではないことを明示するため、消費税の名称を例えば「社会保障税」などに変えることも検討すべきと主張している。

医療機関の事業税の特例措置については「診療報酬に対する非課税(個人・医療法人共通)自由診療収入等に対する軽減税率(医療法人)を恒久的に存続するよう求めた。今年度の税制改正大綱は、これらの特例措置について「適正公平課税」の観点から見直すことを示唆している。これに対して要望書では、行政が手掛けるべき公共的サービスを医療機関が担っているとして「特例措置が適正公平課税に反するというのは誤り」と反論している。

このほか要望書では 相続税・贈与税の納税猶予制度の医療法人への拡充 持ち分のある社団医療法人が相続発生後5年以内に持ち分のない医療法人に移行する場合の相続税・贈与税猶予制度の創設 持ち分のある社団医療法人の出資評価の見直し 寄付金税制の整備 社会医療法人認定取り消し時の税制措置 社会医療法人の付帯業務に対する法人税非課税 病院・診療所用建物などの耐用年数の短縮 福祉病院の固定資産税等非課税措置の恒久化 などの実施を求めている。  
(平成23年9月27日)

## 医師国保組合だより

## 平成 23年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 105回通常組合会

と き 平成 23年 7月 28日(木)

ところ 県医師会館

去る 7月 28日に、第 105回通常組合会を開催し、平成 22年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分について審議を行い、原案通り可決承認されたのでその概要を報告する。

物故者に対し弔慰黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶に続き議事に入った。

## 1. 議事の状況

## 1) 平成 22年度事業報告について

組合会に関する事項について、第 103回、第 104回の通常組合会を開催し、議案を上程し、いずれも原案通り可決承認を得た旨を報告。

理事会に関する事項については、延べ 5回開催し、会議等の報告、主要議題について協議した旨を報告。

会務報告の連絡協議等に関する事項については、官庁(国保・援護課)関係、全国・九州ブロックの各種関連団体の諸会議については役員並びに職員で対応した旨を報告。

被保険者数に関する事項について、月平均被保険者数を前年度と比較して見ると、組合員については 2名の減、家族については 16名の減となっており、毎年被保険者数が減少している。75歳以上の家族の方については後期高齢者医療制度の方へ移行し医師国保組合には残れないということも原因の一つと考えられる。

保険給付に関しては、療養諸費の保険者負担分を 22年度と比較した場合、22年度が 1億 8,604万 7,887円、22年度が 2億 817万 3,903円となっており、約 12%程度の増と

なっている。その他の保険給付については、出産育児一時金は前年度と変わらず、葬祭費は減、傷病手当金については増となっている。高額療養費については、件数で 6%、保険者負担分で 25%と大幅な伸びとなっている。

保健事業の中の健康診断については、受診率 39.67%と前年度と比較すると伸びており、毎年、少しではあるが伸びてきている。

季節性インフルエンザ接種補助、肺炎球菌ワクチン接種補助については今年度は減少となった。歯科健診については、毎年のことではあるが低調であった。

特定健診率については、22年度は 25.05%で、当初から比較すると若干ではあるが伸びてきている。

以上、平成 22年度事業報告について報告し認定を得た。

## 2) 平成 22年度歳入歳出決算について

まず、歳入に関しては、保険料と補助金が主なもので、歳入に占める割合は、保険料が 45.3%、補助金が 18.1%、繰越金が 34.9%というような割合となっている。

保険料については、予算額 2億 9,450万 4,000円に対し、収入済額 3億 87万 1,000円、前年度と比較すると約 300万円程度の減となっている。収納率は 100%である。

国庫支出金については、22年度の療養給付費等補助金(療給・後期・介護・病床転換)は、1億 2,35万 9,690円の補助金で、前年度と比較すると約 6%増となっているもの

の、療養給付費等補助金実績報告により、約600万円程度の返還となっており、今年度(23年度)に返還することになる。

一方、歳出は4億4,747万6,006円の支出で、歳出に占める割合は、保険給付費が52.3%、後期高齢者支援金が16.5%、前期高齢者納付金が4%、介護納付金が8.7%、合計で歳出の約81.5%を占めている。

その他に、組合会費・総務費関係で約9.3%、保健事業費4%となっている。

保険給付費については、支出額が2億3,414万8,325円、対前年比11.4%の増、後期高齢者支援金が約10%の減、前期高齢者納付金は66.3%と大幅な伸びとなっている。

歳入合計6億8,091万8,567円、歳出合計4億4,747万6,006円で、歳入歳出差引残額

は2億3,344万2,561円となり、単年度では、186万6,396円の赤字決算となっている旨を説明し承認を得た。

### 3) 平成22年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別準備積立金」並びに「給付費支払準備積立金」については、法定額を大幅に超えており、今期の積立は必要なく、歳入歳出差引残額2億3,344万2,561円全額を、平成23年度会計へ繰越とすることで承認を得た。

なお、平成22年度歳入歳出差し引き剰余金の処分については、県への認可申請を行い、平成23年9月6日付で宮崎県知事の認可を得たので報告する。

#### 出席議員

1. 市 来 能 成	16. 山 田 孝 俊	
2. 猪 島 康 公	18. 井 手 稔	
3. 内 田 攻	21. 浦 上 裕	
4. 小 池 弘 幸	22. 大久保 史 明	
5. 高 村 一 志	23. 坂 田 師 隣	
7. 田 中 俊 正	24. 福 岡 周 司	
8. 谷 口 二 郎	26. 立 山 洋 司	
10. 福 永 隆 幸	27. 川井田 繁	
11. 藤 木 浩	38. 花 田 武 浩	
12. 武 田 信 豊	30. 岩 見 晶 臣	
13. 出 水 善 文		
14. 佐々木 幸 二	議員定数 30名	
15. 野 邊 俊 文	出席議員 23名	

#### 出席理事 9名

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大 坪 睦 郎
"	河 野 雅 行
常務理事	高 橋 政 見
理 事	佐 藤 雄 一
"	大 塚 直 純
"	濱 田 政 雄
"	石 川 智 信
"	矢 野 裕 士

#### 出席監事 2名

監 事	川 島 謙 一 郎
"	瀬ノ口 頼 久

## 平成 22年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計 680,918,567円

歳 出 合 計 447,476,006円

歳入歳出差引残額 233,442,561円

## 【歳 入】

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料		294 504 000	308 711 000	308 711 000	0	0	14 207 000
	1 国民健康保険料	294 504 000	308 711 000	308 711 000	0	0	14 207 000
2 一部負担金		1 000	0	0	0	0	1 000
	1 一部負担金	1 000	0	0	0	0	1 000
3 分担金及び負担金		270 000	450 000	450 000	0	0	180 000
	1 負担金	270 000	450 000	450 000	0	0	180 000
4 国庫支出金		86 658 000	123 519 690	123 519 690	0	0	36 861 690
	1 国庫負担金	2 051 000	2 522 363	2 522 363	0	0	471 363
	2 国庫補助金	84 607 000	120 997 327	120 997 327	0	0	36 390 327
5 前期高齢者納付金		2 000	0	0	0	0	2 000
	1 前期高齢者納付金	2 000	0	0	0	0	2 000
6 県支出金		2 000	0	0	0	0	2 000
	1 県補助金	2 000	0	0	0	0	2 000
7 共同事業交付金		9 500 000	9 072 000	9 072 000	0	0	428 000
	1 共同事業交付金	9 500 000	9 072 000	9 072 000	0	0	428 000
8 財産収入		1 800 000	2 457 992	2 457 992	0	0	657 992
	1 財産運用収入	1 800 000	2 457 992	2 457 992	0	0	657 992
9 繰入金		5 000	0	0	0	0	5 000
	1 繰入金	5 000	0	0	0	0	5 000
10 繰越金		200 000 000	235 308 957	235 308 957	0	0	35 308 957
	1 繰越金	200 000 000	235 308 957	235 308 957	0	0	35 308 957
11 諸収入		952 000	1 398 928	1 398 928	0	0	446 928
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1 000	0	0	0	0	1 000
	2 預金利子	250 000	247 075	247 075	0	0	2 925
	3 雑収入	701 000	1 151 853	1 151 853	0	0	450 853
歳入合計		593 694 000	680 918 567	680 918 567	0	0	87 224 567

## 【歳出】

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	予算現額と 支出済額 との比較
1 組合会費		8 150 000	4 090 170	0	4 059 830	4 059 830
	1 組合会費	8 150 000	4 090 170	0	4 059 830	4 059 830
2 総務費		58 922 000	37,343 409	0	21,578 591	21,578 591
	1 総務管理費	58 922 000	37,343 409	0	21,578 591	21,578 591
3 保険給付費		267,752 000	234 148 325	0	33 603 675	33 603 675
	1 療養諸費	232 750 000	209 299 032	0	23 450 968	23 450 968
	2 高額療養費	22 001 000	21,014 293	0	986 707	986 707
	3 移送費	1 000	0	0	1 000	1 000
	4 出産育児諸費	1 500 000	840 000	0	660 000	660 000
	5 葬祭諸費	5 500 000	400 000	0	5 100 000	5 100 000
	6 傷病諸費	6 000 000	2 595 000	0	3 405 000	3 405 000
4 後期高齢者支援金等		82 020 000	73 901,377	0	8 118 623	8 118 623
	1 後期高齢者支援金等	82 020 000	73 901,377	0	8 118 623	8 118 623
5 前期高齢者納付金		20 220 000	18 297,346	0	1 922 654	1 922 654
	1 前期高齢者納付金	20 220 000	18 297,346	0	1 922 654	1 922 654
6 老人保健拠出金		11 000	4 536	0	6 464	6 464
	1 老人保健拠出金	11 000	4 536	0	6 464	6 464
7 介護納付金		44 000 000	39 032 163	0	4 967,837	4 967,837
	1 介護納付金	44 000 000	39 032 163	0	4 967,837	4 967,837
8 共同事業拠出金		14 020 000	9 488 000	0	4 532 000	4 532 000
	1 共同事業拠出金	14 020 000	9 488 000	0	4 532 000	4 532 000
9 保健事業費		33 570 000	18 328 730	0	15 241,270	15 241,270
	1 特定健康診査等 事業費	3 930 000	1 940 216	0	1 989 784	1 989 784
	2 保健事業費	29 640 000	16 388 514	0	13 251 486	13 251 486
10 積立金		5 000	0	0	5 000	5 000
	1 積立金	5 000	0	0	5 000	5 000
11 公債費		1 000	0	0	1 000	1 000
	1 一般公債費	1 000	0	0	1 000	1 000
12 諸支出金		12 843 950	12 841,950	0	2 000	2 000
	1 償還金及 還付加算 金	12 843 950	12 841,950	0	2 000	2 000
13 予備費		52 179 050	0	0	52 179 050	52 179 050
	1 予備費	52 179 050	0	0	52 179 050	52 179 050
歳出合計		593 694 000	447,476 006	0	146 217,994	146 217,994

## 医師国保組合だより

## インフルエンザ予防接種補助のご案内

本年度も保健事業の一環としてインフルエンザ予防接種補助事業を実施します。  
この機会にぜひご利用ください(自家接種でも対象となります)。

1. 対象者 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
2. 補助金額 1名につき2,000円(高齢組合員は1,000円)。  
期間内に1名につき1回補助します。
3. 接種期間 平成23年10月1日から平成24年2月28日まで
4. 申請方法 申請書ご記入・ご捺印の上、事務局にご提出ください。
5. 申請締切 平成24年3月31日(必着)

本組合では、上記補助事業のほか、**肺炎球菌ワクチン予防接種補助**、**健康診断**、**歯科健康診査**を実施しております。自家接種、自家健診でも補助対象となりますのでぜひご利用ください。

また、宮崎市郡医師会成人病検診センターでの日曜日の集団健診は、下記の日程で予約受付中です。後半は希望者多数によりお断りすることもございますので、お早めにお申し込みください。

平成24年	1月15日(第3日曜日)	定員各20名 (子宮頸がん検診は不可)
	2月5日(第1日曜日)	
	2月19日(第3日曜日)	

書類を紛失してお困りの場合やご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

連絡先

宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101 ☎ 0985-22-6588

E-mail kokuho@miyazakimed.or.jp

医師国保組合だより

## 第16回「歩こう会」のご案内

第16回歩こう会を下記のとおり開催いたします。多数のご参加をお待ちいたしております。

なお、詳細につきましては、組合員の皆様へ直接ご案内申し上げますので、どうぞよろしく願いいたします。

と き 平成23年11月13日(日)

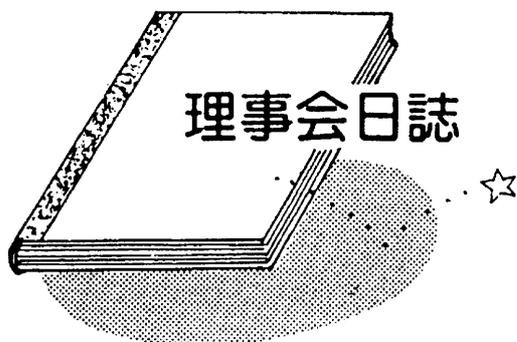
ところ 阿波岐原森林公園(市民の森)(御池^{みそぎいけ}周辺)

1時間半程度のコースです。

### 9月のベストセラー

1	体脂肪計タニタの社員食堂 500calのまんぷく定食	夕	二	夕	大和書房		
2	続・体脂肪計タニタの社員食堂 もっとおいしい500calのまんぷく定食	夕	二	夕	大和書房		
3	百歳	柴	田	ト	ヨ	飛鳥新社	
4	日本人なら知っておきたい日本文学	蛇	海	野	凧	蔵子	幻冬舎
5	櫻木式 カーヴィーダンスで部分やせ!	櫻	木	裕	実	学研マーケティング	
6	暴力団	溝	口		敦	新潮社	
7	官僚の責任	古	賀	茂	明	PHP研究所	
8	地獄に落ちる世界経済 「金と菌」が日本を救う	松	藤	民	輔	PHP研究所	
9	決断できない日本	ケ	ビン	・	メ	ア	文藝春秋
10	ジェノサイド	高	野	和	明	角川書店	

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077



平成 23年 8月 2日(火) 第 10回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
所属役員の県立病院事業評価委員会委員への就任について  
引き続き、稲倉会長が就任することが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
10/16日(宮崎市民文化ホール)「看取りを伴う地域医療ネットワーク作り」名義後援のお願い  
名義後援を行うことが承認された。  
10/23日(宮崎市民プラザ)第6回九州臨床工学会名義後援依頼について  
名義後援を行うことが承認された。
3. 11/18(輪)~20日(佐賀)第11回九州医師会総会・医学会等の開催に伴う参加申し込みについて  
開催される行事等の説明が行われ、後日、事務局より意向を確認することとなった。
4. 資金運用について  
無利息口座に預けている資金を有効に活用するため、国債と定期預金を中心に、資産運用することが承認された。
5. 県医師会在宅医療連絡協議会設立について

在宅医療を担う医師たちの団結と協力を目的に、会員を対象とした協議会を設立することが提案され承認された。

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
2. 7/27日(宮崎労働局)防災診療指導委員会について
3. 7/28日(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について
4. 7/28日(JA-AZM本館)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について
5. 6/27日(宮崎大学救急部との打合せ会)について
6. 7/28日(宮観ホテル)宮大医学部附属病院ドクターヘリ運航準備委員会について
7. 8/1日(県医)県訪問看護ステーション理事会について
8. 7/30日(秋田)男女共同参画フォーラムについて
9. 8/1日(ル・フェーヴ)広報委員会について
10. その他  
公益法人化準備委員会について

平成 23年 8月 9日(火) 第 11回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 9/1日(JA-AZM)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について  
役員1名の立会いが承認された。
2. 9/28日(祝・金)(静岡)第6回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等の開催について  
富田副会長と長倉理事の出席が承認された。
3. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

- 慎重に検討を行い、1名を推薦することが承認された。
4. 9/17(土)佐賀)九州医師会連合会第32回常任委員会及び平成23年度第1回各種協議会の開催について  
常任委員会への提出議題については会長一任となり、出席者については、提案事項等を確認した上で、後日、事務局から担当理事を中心に照会することとなった。
5. 九州医師会連合会平成23年度第1回各種協議会の提案事項に対する回答について  
医療保険対策は河野副会長、介護保険対策は石川常任理事、医療安全対策は濱田常任理事が取りまとめ回答することとなった。
6. 「戦没者を追悼し平和を祈念する宮崎県民の集い」へのご協賛のお願いについて  
協議の結果、協賛を見送ることになった。
7. 業務委託について  
へき地出張診療所医療業務の委託契約について  
契約を締結することが承認された。  
宮崎県主治医研修の委託契約について  
契約を締結することが承認された。
8. 平成24年度妊婦及び乳幼児健康診査に係る委託単価見積りについて  
原案通り、妊婦健診は統一した金額で、乳幼児は増額した見積もりで各市町村に提案することが承認された。
9. 平成24年度妊婦及び乳幼児健康診査並びに眼科及び耳鼻咽喉科に係る三歳児精密健康診査における審査事務費の見積りについて  
原案通り各市町村に提案することが承認された。
10. 10/6(木)日医)第33回産業保健活動推進全国会議の開催について  
大塚常任理事と県医師会事務局及び県内4つの地域産業保健センターからコーディネータ

ネータが出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8/6(土)大分)九医連常任委員会について
3. 8/6(土)~7(日)埼玉)全国有床診療所連絡協議会総会等について
4. 8/9(火)ひまわり荘)地方公務員災害補償基金県支部審査会について
5. 8/6(土)~7(日)大分)九州ブロック学校保健・学校医大会等について
6. 8/9(火)県医)治験審査委員会について
7. 8/9(火)県医)治験理事会について
8. その他  
公益法人化準備委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 8/8(月)ホテルメリージュ)清山知憲県政報告会について
2. 8/8(月)ホテルプラザ別館)自民党県連国・県に対する要望ヒアリングについて

平成 23年 8月 23日(火) 第 12回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 医師臨床研修制度見直しを求める請願署名について  
関係機関と連携の上、協力していくことが承認された。
2. 9/15(木)~16(金)宮崎)社会保険医療担当者の特定共同指導に係る立会いについて  
役員の立会いが承認された。
3. 9/28(金・祝)(日医)平成23年度A学術シンポジウム開催のご案内  
役員の出席が承認された。
4. 10/23(日)日医)第125回日本医師会臨時代議員会の開催について

- 4 名の代議員の出席が承認された。
- 5 . 第 125 回日本医師会臨時代議員会( 10/23)における九州ブロック代表質問・個人質問について  
会長一任とし、理事者で提案がある場合は事務局まで申し出ることとなった。
- 6 . 後援・共催名義等使用許可について  
9 /24(金) 潤和会記念病院)「日本医師事務作業補助者研究会第 1 回宮崎地方会」名義後援申請について  
名義後援することが承認された。また、本会からも情報提供等を行い協調していくこととなった。  
10/2 (日) 佐賀勤労者総合福祉センター)第 2 回九州在宅医療推進フォーラムの開催の後援のお願い  
名義後援することが承認された。  
11/10(木) 県福祉総合センター)、11/12(土) (宮日会館)スミセイさわやか介護セミナーの名義後援申請について  
名義後援することが承認された。
- ( 報告事項 )
- 1 . 週間報告について
- 2 . 8 /10(水) 支払基金)支払基金幹事会について
- 3 . 8 /23(火) ニューウエルシティ)地方公務員災害補償基金九州ブロック支部審査会について
- 4 . 8 /20(土) 県医)学校医部会総会・医学会について
- 5 . 8 /19(金) 県庁)県個人情報保護審査会について
- 6 . 8 /13(土) 宮観ホテル)初期医師臨床研修 修了後専門研修説明会inみやざきについて
- 7 . 8 /22(月) 県医)救急医療委員会について
- 8 . 8 /20(土) 宮観ホテル)県医師会介護支援専門員連絡協議会総会・研修会について

- 9 . その他  
公益法人化準備委員会について  
医師連盟関係  
( 議決事項 )
- 1 . 9 /14(水) 宮観ホテル)三師会懇談会の開催について  
出席者について協議され、稲倉委員長、河野・富田副委員長、立元・佐藤・大塚常任執行委員が出席することが承認された。
- 2 . 10/1 (土) 都城 メインホテル)日本創造研究会主催第 4 回特別セミナーについて  
セミナーに参加・協力することが承認された。
- 3 . 10/1(火) 宮観ホテル)「河野しゅんじ県政報告会」のご案内  
県政報告会に参加・協力することが承認された。
- 4 . 10/16(日) 県立芸術劇場)「自由民主党宮崎県政経セミナー 2011」セミナー券の販売について  
セミナーに参加・協力することが承認された。

平成 23 年 8 月 30 日(火) 第 7 回全理事会

- 医師会関係  
( 議決事項 )
- 1 . 本会外の役員等の推薦について  
宮崎地方労働審議会委員( 第 6 期 )の推薦について  
引き続き松本常任理事を推薦することが承認された。
- 2 . 後援・共催名義等使用許可について  
11/16(水) メディキット県民文化センター)平成 23 年宮崎県社会福祉大会に対する後援名義の使用許可について  
後援することが承認された。



## 県 医 の 動 き

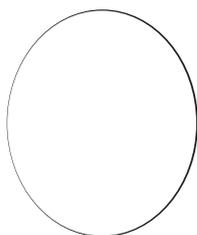
( 9 月 )

1	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 産業医研修会	15	社会保険医療担当者の特定共同指導(上田理事) 日医広報委員会(日医) 荒木常任理事) 産業医研修会 県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)
2	日医地域医療対策委員会(日医) 富田副会長)	16	社会保険医療担当者の特定共同指導(河野副会長) 広報委員会(荒木常任理事)
3	県医医学会(会長他)	17	九医連常任委員会(会長) 九医連各種協議会(河野副会長他)
5	医学会誌編集委員会(富田副会長他)	20	医協打合会(立元常任理事) 第14回常任理事会(会長他)
6	治験審査委員会(富田副会長他) 第13回常任理事会(会長他)	21	全体課長会(事務局) 奥様医業経営塾(医協事務局)
7	奥様医業経営塾(医協事務局) 支払基金幹事会(会長) 顧問弁護士との懇談会(会長他) 県産婦人科医会献金委員会(濱田常任理事)	23	A 学術シンポジウム(日医) 大塚常任理事) 全医秘協常任委員会(静岡) 長倉理事) 全医秘協定例総会・運営委員会(静岡) (富田副会長他)
8	日医医療情報システム協議会運営委員会(日医) (会長他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	26	広報委員会(荒木常任理事) 介護保険委員会(石川常任理事他)
10	産業医研修会(矢野理事) 日医生涯教育セミナー「地域医療と予防接種 ～ワクチンがもたらす恩恵～」(会長他) 九州医師協同組合連合会会計監査会(福岡) (立元常任理事) 九州医師協同組合連合会理事会(福岡) (立元常任理事)	27	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 医協運営委員会(会長他) 第15回常任理事会(会長他)
12	宮崎政経懇話会(会長) 宮大医学部救急部との打合会(富田副会長他)	28	労災診療指導委員会(河野副会長他) 産業医研修会 新生児聴覚検査研修会 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸理事)
13	第8回全理事会(会長他) 九医学準備委員会(会長他)	29	自賠委員会(松本常任理事) 損害保険医療協議会(松本常任理事)
14	日医乳幼児保健検討委員会(佐藤常任理事) 三師会懇談会(会長他) 日本産婦人科医会九州ブロック協議会実行委員 会(濱田常任理事)	30	日医医療秘書認定試験委員会(日医) 富田副会長)

## ニューメンバー

三股町  
みしま内科クリニック

みしまかずや  
三嶋和也



住 所 宮崎市  
専門科目 内科, 循環器内科  
家族構成 妻, 長女( 15), 次女( 13),  
長男( 3 )

略 歴  
昭和 6年 宮崎県立都城西高校卒業  
平成 4年 宮崎医科大学( 現宮崎大  
学医学部 )卒業  
同 年 宮崎医科大学第 1 内科  
入局

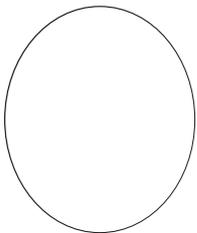
職 歴  
大学附属病院, 西都救急病院,  
県立日南病院, 宮崎循環器病院,  
鶴田病院に勤務。

趣 味 ゴルフ( 下手の横好き ),  
ドライブ

抱 負 これまで宮崎大学医学部附  
属病院第一内科医局の関連病院に勤  
務し, 一般内科および循環器内科領  
域の研鑽を積んで参りましたが, 平  
成 23年 8月に三股町にてみしま内科  
クリニックを開設し, 医師会に入会  
させていただきました。糖尿病を基  
礎に持つ患者さまの多岐にわたる高  
度狭窄をきたしたゴリゴリの冠動脈  
や, 急性心筋梗塞の緊急カテーテル  
治療の際には破裂した粥腫・血栓付  
着による冠動脈閉塞を目の当たりに  
してきましたので, そうならないよ  
うに患者さまの生活習慣の改善や動  
脈硬化のリスクに対する十分な予防・  
治療を行っていきたいと思います。  
地元で医療に携わることができる幸  
せを感じながら, 諸先輩方のご指導  
の下, 地域の方々に喜ばれるような  
医療を提供できればと考えています。  
よろしくお願いいいたします。

都城市  
児玉小児科

こだまゆきこ  
児玉由紀子



住 所 都城市  
専門科目 小児科  
家族構成 長男( 小 4 )

略 歴  
平成 2年 県立都城泉ヶ丘高校  
卒業  
平成 8年 大分医科大学卒業  
同 年 宮崎医科大学小児科  
入局

趣 味 音楽鑑賞

抱 負 大学卒業後, 県内各地の医  
療機関で一般小児科および重度心身  
障害児者, 発達障害児の方々の診療  
に携わってきました。平成 23年度よ  
り出身地である都城市内での診療が  
主となり, あらためて方言の魅力も  
感じているところです。

直接診察させていただく患者( 患  
児 )さんだけではなく, 関わるご家  
族や保育者など総合的な支援ができ  
るよう努めてまいる所存です。よろ  
しくお願いいいたします。

## ドクターバンク情報

（ 無料職業紹介所 ）

平成 23年 9月 14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しております。ご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤・非常勤別
内 科	5	常勤(2), 非常勤(3)
整 形 外 科	1	常勤(1)

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 37人

1) 男性医師 26人 2) 女性医師 11人

3. 求人登録 87件 315人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤・非常勤別
内 科	91	常勤(66), 非常勤(25)
外 科	28	常勤(24), 非常勤(4)
整 形 外 科	24	常勤(20), 非常勤(4)
精 神 科	21	常勤(17), 非常勤(4)
循 環 器 科	16	常勤(16)
脳 神 経 外 科	15	常勤(11), 非常勤(4)
消 化 器 内 科	12	常勤(12)
麻 酔 科	11	常勤(7), 非常勤(4)
眼 科	10	常勤(8), 非常勤(2)
放 射 線 科	9	常勤(8), 非常勤(1)
小 児 科	6	常勤(5), 非常勤(1)
呼 吸 器 科	5	常勤(5)
リハビリテーション科	5	常勤(3), 非常勤(2)
血 液 内 科	3	常勤(3)
神 経 内 科	5	常勤(5)
救 命 救 急 科	3	常勤(3)
健 診	3	常勤(2), 非常勤(1)
産 婦 人 科	2	常勤(2)
泌 尿 器 科	2	常勤(2)
検 診	2	非常勤(2)
皮 膚 科	3	常勤(3)
人 工 透 析	3	常勤(3)
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤(1)
そ の 他	35	常勤(33), 非常勤(2)

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	1	非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整,放,麻,内	8	常勤・非常勤
160017	医)プレスピア プレスピアなんば病院	宮崎市	乳腺,内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼,神内,眼,耳,総診,呼外, 循,臨病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	内,精	3	非常勤
170040	医)いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	内,消内,内,泌糖内,呼,放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外,内	3	常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190089	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳,内,麻	4	常勤・非常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	整,内	3	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化,外,総内,麻,放,精,整, 循	13	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,化療,リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内,リハ	5	常勤・非常勤
220121	医)社団 星井眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
220123	医)仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
220125	医)仁和会 竹内病院	宮崎市	外,内	3	常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	内,泌	2	常勤
160010	特医)澈和会 戸嶋病院	都城市	内,老内	2	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,救急,整,脳,外,総合	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内,老内,精	3	常勤
170056	医)社団アブラムクラブ ベテスダクリニック	都城市	循内,脳外,呼,神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内,血内,循呼,内,脳, 産婦,小児	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精,内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)敬和会 みまた病院	三 股 町	内消内循皮整婦小, 呼放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外内麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 下長飯クリニック	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外整外皮放,肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外消内 緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外麻,精神内,脳神経 老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内小,外整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外内整透	7	常勤
230130	医)フボール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内放,外小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整内,心内,眼,健診,循脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼循,消内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	2	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神内,整,外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内循呼,血内,健診,放小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外内整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神内,循内,脳外	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 23年 9月 14日現在

賃 貸 物 件	<p>日南市園田 2 -2 -5(診療所跡)</p> <p>建物：鉄骨コンクリート造 2階建</p> <p>1階 147.17㎡, 2階 54.68㎡</p> <p>日南市油津で町の中心部です。</p>
	<p>宮崎市曾師町 209-3(診療所跡)</p> <p>建物：鉄筋コンクリート造 2階建</p> <p>1階 183.35㎡, 2階 166.69㎡</p> <p>駐車場：10台分</p>

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1丁目 10番地(宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoubank@myazakimed.or.jp

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	c	b	e	c	b	a, d	c	e	d

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23年 9月 30日現在

		10		月	
1	土	15 00 県警察医会総会 15 00 県産婦人科医会秋期定時総会・市民公開講座 18 00 九州首市医師会連絡協議会懇親会	16	日	九州医師協同組合連合会 9 00 九州各県内科審査委員懇話会 10 00 TPP交渉参加断固阻止みやざき県民集会
2	日	15 00 県立宮崎病院開設 90周年記念式典	17	月	
3	月		18	火	18 20 医協打合会 19 00 第 18回常任理事会
4	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 16回常任理事会	19	水	9 10 全体課長会（事務局） 10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 14 00 みやざき愛の献血運動推進県民大会 19 00 宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会・特別講演会
5	水	10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 14 00 産業医研修会 19 30 県産婦人科医会学術委員会	20	木	15 00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会
6	木	10 30 （日医）産業保健活動推進全国会議 19 00 医療安全対策セミナー 19 00 全国医療法人経営セミナー実行委員会	21	金	14 00 産業医研修会 17 00 全国医療法人経営セミナー前夜祭
7	金	12 15 全国医師国保組合連合会全体協議会 14 00 産業医研修会 19 00 県内科医会学術委員会 19 00 公益法人化検討委員会	22	土	9 00 全国医療法人経営セミナー 15 00 日本産婦人科医会九州ブロック協議会 16 00 県整形外科医会研修会
8	土	9 00 ICLS研修会 14 30 産業医研修会 16 00 日医連医政活動研究会	23	日	9 00 日本産婦人科医会九州ブロック協議会 9 00 （日医）九州ブロック日医代議員連絡会議 9 30 （日医）日医臨時代議員会
9	日	8 30 ACLS研修会 12 00 全国医師協同組合連合会広報部会	24	月	13 30 地域医療支援機構設立総会 19 00 広報委員会
10	月	（体育の日） 10 00 県アイバンク協会設立 30周年記念大会	25	火	18 15 医協運営委員会 19 00 第 9 回全理事会
11	火	19 00 第 17回常任理事会	26	水	15 00 労災診療指導委員会
12	水	16 00 支払基金幹事会 18 30 産業医研修会	27	木	18 30 産業医研修会
13	木	10 00 （日医）日医社会保険指導者講習会 13 30 県犯罪被害者等支援連絡協議会総会 19 00 女性医師委員会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	28	金	15 00 （日医）日医医療秘書認定試験委員会 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19 00 高次脳機能障がい講演会
14	金	10 00 （日医）日医社会保険指導者講習会 10 30 奥様医業経営塾卒業生向けフォローアップセミナー（医協事務局） 19 15 広報委員会	29	土	10 00 全国学校保健・学校医大会 10 00 全国医師会勤務医部会連絡協議会 13 00 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会
15	土	15 00 生活習慣病検診従事者研修会 15 00 日本臨床内科医会九州ブロック会議 15 30 園医部会総会・研修会 16 10 九州各県内科医会連絡協議会 16 30 九州医師協同組合連合会通常総会	30	日	
			31	月	18 30 県産業保健連絡協議会等

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23年 9月 30日現在

11			月			
1	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 19回常任理事会	16	水	9 10 全体課長会（事務局） 10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 18 30 会計監査	↑ 国 保 審 社 査 保 審 査 ↓
2	水	10 30 奥様医業経営塾（医協事務局）	17	木	19 00 産業医研修会	
3	木	（文化の日） 9 00 県医親善ゴルフ大会	18	金	16 00 九医連常任委員会 17 00 九医連臨時委員総会	
4	金		19	土	10 00 九医連委員・九州各県医師会 役員合同協議会 13 00 九州医師会総会・医学会	
5	土	15 00 生活習慣病検診従事者研修会 16 00 全国医師協同組合連合会通常総会 16 00 県外科医会秋期講演会	20	日	8 00 九医学分科会・記念行事	
6	日	7 30 全国医師協同組合連合会通常総会	21	月		
7	月	19 00 県内科医会誌編集委員会	22	火	18 30 第 10回全理事会 19 20 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会	
8	火	18 20 医協打合会 19 00 第 20回常任理事会	23	水	（勤労感謝の日） 13 30 ながさき治験医療ネットワーク講演会	
9	水	14 00 産業医研修会 16 00 支払基金幹事会	24	木	19 00 広報委員会 19 00 生活習慣病検診従事者研修会	
10	木	15 00 （日医）日医医療情報システム協議会 運営委員会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	25	金	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
11	金	13 00 治験ネットワークフォーラム	26	土	14 30 産業医研修会 15 00 九州学校検診協議会専門委員会 17 00 九州各県学校保健担当理事者会	
12	土	15 00 社保指導者講習会復講 17 00 県産婦人科医会学術講演会	27	日		
13	日	10 00 医師国保組合歩こう会 10 00 世界糖尿病デー学術講演会 14 00 県民健康セミナー	28	月	19 00 医学賞選考委員会	
14	月	18 30 世界糖尿病デー in宮崎 19 15 広報委員会	29	火		
15	火	18 15 医協運営委員会 19 00 第 2回常任理事会	30	水	10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 15 00 労災診療指導委員会	

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第48回九州首市医師会連絡協議会 (2単位) (CC 1,10,13,80)	10月1日(土) 15 00~ 17 10 宮崎観光ホテル	シンポジウム：災害医療対策 DMAT・JMAT派遣報告と問題点 大規模災害の現状 - 災害時の対策 -	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
宮崎県警察医会総会・特別講演会 (2単位) (CC 1,2,3,4)	10月1日(土) 15 15~ 17 15 宮崎北警察署	東日本大震災検死報告 宮崎県警捜査第一課検死官 石黒 次男 宮崎大学医学部法医学教授 湯川 修弘 宮崎県警察歯科医会理事 丸山 寿夫 大規模災害時の検死について - 東日本大震災の経験から - 九州大学医学部法医学教授 池田 典昭	主催 宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118
第24回宮崎乳腺疾患研究会 がん検診(乳) (1.5単位) (CC 84)	10月1日(土) 15 30~ 17 30 ホテルJALシティ 宮崎 500円	がん研有明病院の今 2011 - 術前診断から治療方針の決定まで - がん研有明病院乳腺センター長 岩瀬 拓士	共催 宮崎乳腺疾患研究会 アストラゼネカ㈱ ☎ 092-283-8150
宮崎Airway Forum 2011 (2単位) (CC 38,39,46,79)	10月1日(土) 16 00~ 18 15 シーガイアコンベンションセンター	上気道アレルギーと気管支喘息 - 臨床の盲点も含めて - 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター病態総合研究部長 谷口 正実	共催 日耳鼻宮崎県地方部会 小野薬品工業㈱ ☎ 0985-50-0173 後援 宮崎県医師会 宮崎県内科医会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 12 回宮崎県骨関節研究会 ( 2 単位 ) ( CC 72,73)	10 月 1 日 ( 土 ) 17 30 ~ 19 30 M R T m i c c	当センターにおける小児整形外科疾患の 治療 県立こども療育センター所長 柳園 賜一郎 慢性疼痛に対する治療の現在と今後 山口大学整形外科学教授 田口 敏彦	主催 宮崎県臨床整形外科医会 共催 久光製薬(株) ☎ 099-219-9891
第 48 回九州首市医師会連絡協議会 ( 2 単位 ) ( CC 5 , 9 , 10, 84)	10 月 2 日 ( 日 ) 9 00 ~ 11 10 宮崎観光ホテル	中央情勢報告 日本医師会長 原中 勝征 ビッグツールを探せ! (株)読売巨人軍専務取締役球団代表 G M 編成本部長・オーナー代行 清武 英利	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
第 10 回宮崎心エコー研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC 1 , 8 , 11)	10 月 4 日 ( 火 ) 19 00 ~ 20 30 宮崎観光ホテル 500 円	心エコー法はもっと活用できる 国立病院機構鹿児島医療センター 統括診療部長 皆越 眞一	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 第一三共(株)
宮崎県医師会産業医研修会(生涯研修の 実地研修会 2 単位) ( 2 単位 ) ( CC 1 , 12)	10 月 5 日 ( 水 ) 14 00 ~ 16 00 サムコテクシブ(株)	(7)職場巡視と討論 職場巡視の進め方と産業保健活動 サムコテクシブ(株)産業医 谷山 ゆかり	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県内科医学会学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( CC 2 , 23, 76)	10 月 5 日 ( 水 ) 18 45 ~ 20 30 宮崎観光ホテル	経口糖尿病薬のポジショニングと治療アル ゴリズム 山口大学病態制御内科学教授 谷澤 幸生	共催 宮崎県内科医会 小野薬品工業(株) ☎ 0985-50-0173

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
医療安全対策セミナー (1.5単位) (CC 5,8,84)	10月6日(木) 19 00~ 20 30 県医師会館(TV会議:都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵)	今改めて考える医療安全 - 事例から学ぶリスクマネジメント - 東京海上日動メディカルサービス(株) 医療本部第三医療部長 山本 貴章	主催 宮崎県医師協同組合 ☎ 0985-23-9100 共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科 医会第45回症例検 討会 (1単位) (CC 2,9)	10月6日(木) 19 30~ 宮崎市郡医師会病院	各医院からの紹介例 宮崎市郡医師会病院産婦人科 道方 香織	主催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会2単 位) (2単位) (CC 11,12,76,82)	10月7日(金) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 糖尿病の予防と治療 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第10回県北呼吸器 カンファレンス学 術講演会 (1単位) (CC 73,80)	10月7日(金) 19 00~ 20 00 ホテルメリージュ 延岡	COPDのトータルケア 霧ヶ丘つだ病院長 津田 徹	共催 県北呼吸器カンファレンス 延岡医学会 グラクソ・スミスクライン(株) ☎ 0120-561-007 後援 延岡内科医会
第10回宮崎県睡眠 呼吸障害研究会 (2単位) (CC 74,76,80,82)	10月7日(金) 19 00~ 21 00 ホテルメリージュ 500円	SASとうつ病について 久留米大学医学部神経精神医学 教授 内村 直尚	共催 宮崎県睡眠呼吸障害研究会 帝人在宅医療(株) ☎ 0985-25-6613

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
南那珂医師会地域 保健医学会 ( 1 単位 ) ( CC 13 )	10月 7 日(金) 19 00~ 20 00 南那珂医師会館	地域医療の展望 - 県南地区の現状を踏まえて - 宮崎県議会議員 清山 知憲	主催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修・生涯研修の実 地研修会 2 単位 ) ( 2 単位 ) ( CC 1 ,11,12 )	10月 8 日(土) 14 30~ 16 30 県医師会館 ( 定員 50 名 )	(2)じん肺の胸部エックス線検査 塵肺に関する実地研修 産業医科大学呼吸病態学教授 森本 泰夫	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
延岡医学会総会 ( 2 単位 ) ( CC 2 ,13,72,82 )	10月 8 日(土) 16 00~ 19 00 延岡市医師会病院	胎児 低酸素症への取組み 宮崎大学医学部産婦人科学教授 鮫島 浩	主催 延岡医学会 ☎ 0982-21-1300
宮崎インスリン療 法研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC 73,76,82 )	10月 8 日(土) 17 00~ 18 30 M R T m i c c	インクレチン時代におけるインスリン療 法の立ち位置 金沢大学恒常性制御学准教授 篁 俊成	主催 宮崎インスリン療法研究会 共催 日本イーライリリー(株) ☎ 080-6126-4550
第 2 回ひむか東洋 医学研究会学術大 会 ( 3 単位 ) ( CC 13,83 )	10月 9 日(日) 9 00~ 12 00 JA A Z M ホール 5,000円 ( 専門医 ) 1,000円 ( 専門医以外 )	漢方への私見と GP としての関わり 素心庵栗山医院院長 栗山 一道	主催 日本東洋医学会九州 地方会宮崎県部会 共催 宮崎県東洋医会 ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部産婦人科 ☎ 0985-85-0988

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会2単 位) (2単位) (CC 11,12,69)	10月12日(水) 18 30~ 20 30 都城市北諸県郡医師 会館	(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルス - その気持ち変えませんか - 都城新生病院 前原 正法	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第66回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 (1.5単位) (CC 1,9,13)	10月12日(水) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	PCI患者における抗血小板療法の重要性 千葉大学循環病態医科学教授 小林 欣夫	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 サノフィ・アベン ティス(株)
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 (1.5単位) (CC 2,73,82)	10月13日(木) 18 45~ 20 30 都城ロイヤルホテル	動脈硬化性血管イベント抑制の新しい 潮流 - 数々のエビデンスを背景に誕生したカ デュエットへの期待 - 宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学准教授 今村 卓郎	主催 都城市北諸県郡医 師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 アステラス製薬(株)
第34回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会 (2単位) (CC 9,31)	10月13日(木) 18 50~ 21 00 シーガイアコンベン ションセンター 500円	メニエール病診療最近の動向 - 診療ガイドラインを中心に - 富山大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授 渡辺 行雄	共催 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 (株)ソムラ ☎ 0985-28-9663 後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
第42回宮崎県北地 区整形外科医会講 演会 (1単位) (CC 61,73)	10月13日(木) 19 20~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	関節リウマチと地域連携 宮崎大学医学部整形外科学教授 帖佐 悦男	共催 宮崎県北地区整形外科医会 延岡医学会 中外製薬(株) ☎ 0985-20-8118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 10回宮崎内視鏡 外科研究会 ( 2 単位 ) (cc 1,2,5,8)	10月 14日(金) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル 500円	最新の腹腔鏡下大腸手術手技 - 技術認定取得を含めて - 埼玉医科大学国際医療センター 下部消化管外科教授 山口 茂樹	主催 宮崎内視鏡外科研究会 共催 ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株) ☎ 092-441-3807
第 5 回日本褥瘡学 会・在宅褥瘡医療 ネットワーク委員 会 宮崎県セミ ナー ( 4 単位 ) (cc 10,11,13, 14,58,62,73,80)	10月 15日(土) 13 00~ 17 00 JA ㊦ ZM ホール 500円	褥瘡治療に用いる外用薬の種類と使用 方法 薬局つばめファーマシー薬剤師・ 介護支援専門員 萩田 均司 福祉用具( レンタル )における褥瘡予防と ケアについて 日本福祉用具供給協会モンテン(株) 村中 修 ポジショニング - こちよく寝るために - 潤和会記念病院リハビリテーション 療法部理学療法士 長瀬 泰範 褥瘡治療のための包括的環境支援 宮崎江南病院リハビリテーション部 第 1 係長作業療法士 金子 茂稔	主催 日本褥瘡学会・在宅 褥瘡医療ネットワー ク委員会 後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県皮膚科医会 宮崎県薬剤師会他 ( 連絡先 ) 古賀総合病院看護部清家 ☎ 0985-39-8888
第 15回宮崎県認知 症かかりつけ医研 修会 ( 2 単位 ) (cc 10,13,29,80)	10月 15日(土) 14 00~ 16 00 JA ㊦ ZM ホール	認知症のケアと治療 ハートピア細見クリニック院長 細見 潤	共催 宮崎県認知症かかり つけ医研修会 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676 宮崎県医師会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 45回宮崎県スポーツ学会 ( 3 単位 ) ( CC 11,12,57, 60,61,72)	10月 15日(土) 15 00~ 18 30 宮日会館 1,000円	甲子園でのメディカルサポートのご紹介 と膝外傷後のリハビリテーションならび に予防の為のトレーニング 大阪電気通信大学理学療法学科 教授 小柳 磨毅 一流スポーツ選手に学ぶ身体健康法 中京大学スポーツ科学部教授 湯浅 景元 スポーツ選手の腰椎分離症 岐阜大学整形外科学教授 清水 克時	共催 宮崎県スポーツ学会 ファイザー(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
平成 23年度宮崎県 医師会園医部会総 会・研修会 ( 2 単位 ) ( CC 1 ,6 ,11,12)	10月 15日(土) 15 30~ 18 00 JA ㊦AZM 別館	食物アレルギーの理解と対応 どんぐりこども診療所院長 系数 智美 ペアレント・トレーニングの概要とその 効果 宮崎大学教育文化学部准教授 立元 真	主催 宮崎県医師会園医部会 ☎ 0985-22-5118
江南医療連携の会・ 特別講演会 ( 1.5 単位 ) ( CC 61)	10月 15日(土) 18 30~ 20 45 M R T m icc 500円	手首の痛み 熊本機能病院整形外科部長 寺本 憲市郎	共催 江南医療連携の会 エーザイ(株) (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
宮崎市郡外科医会 10月例会 ( 1 単位 ) ( CC 9 ,76)	10月 17日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	糖尿病診療の新しい流れ - インクレチン時代を迎えて - 古賀総合病院長 栗林 忠信	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎市郡医師会 10 月例会ならびに特 別講演会・しのの め医学会 ( 1 単位 ) (cc 2 ,13)	10月 19日(水) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	地域医療学講座が目指すもの 宮崎大学医学部地域医療学講座 教授 長田 直人	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
第 13回宮崎 感染と 免疫 研究会 ( 1.5単位 ) (cc 11,46,47)	10月 20日(木) 19 00~ 20 45 宮崎観光ホテル	嫌気性菌と呼吸器感染症 愛知医科大学感染制御学教授 三鴨 廣繁	共催 宮崎 感染と免疫 研究会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) (cc 11,12,69)	10月 21日(金) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルスにおける問題点 宮崎大学医学部精神医学 植田 勇人	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 26回全国医療法 人経営セミナー ( 5 単位 ) (cc 1 ,3 ,4 , 7 ,10,13,14,80, 81,84)	10月 22日(土) 9 00~ 16 00 宮崎観光ホテル	一般・急性期病棟の平成 22年度改定の検 証(仮) 宮崎善仁会病院 関屋 亮 他 シンポジウム：医療保険・介護保険，次 期同時改定への提言	主催 日本医療法人協会 宮崎県医師会医療 法人部会 ☎ 0985-22-5118
日向市東臼杵郡内 科医会学術講演会 ( 1 単位 ) (cc 76,82)	10月 25日(火) 19 00~ 21 00 ホテルベルフォート 日向	空腹時血糖をコントロールする重要性 平和台病院名誉院長 中村 周治	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 サノフィ・アベン ティス(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の更新研修会2単 位) (2単位) (cc 7,11,12,82)	10月27日(木) 18:30~20:30 県医師会館	(1)労働安全衛生法の改正点 関連主要通達 定期健康診断における有所見率の改善の ために - 最近の厚労省通達を中心に( ) - 宮崎産業保健推進センター所長 小岩屋 靖	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第30回宮崎県整形 外科セミナー学術 講演会 (2単位) (cc 60,77)	10月27日(木) 19:00~ ホテルJALシティ 宮崎	橈骨遠位端骨折からみた骨粗鬆症・転倒 への対策 産業医科大学整形外科学准教授 酒井 昭典	共催 宮崎県臨床整形外科医会 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884
第9回生活習慣病 研究会 (2単位) (cc 23,73,75,82)	10月27日(木) 19:00~21:00 宮崎観光ホテル 1,000円	メタボリックシンドロームの病態と対策 大阪大学内分泌・代謝内科学 教授 下村 伊一郎 生活習慣病診療に関わる肥満・メタボリッ クシンドロームの意義 東京通信病院副院長 宮崎 滋	共催 生活習慣病研究会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710
第12回IBD講演会 (2単位) (cc 1,5,53,54)	10月28日(金) 18:40~20:40 ホテルJALシティ 宮崎	IBDの病態に基づく治療戦略 関西医科大学消化器肝臓内科 教授 岡崎 和一	共催 宮崎県内科医会 杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (2単位) (cc 11,73,74,82)	10月28日(金) 19:15~ ガーデンベルズ小林	患者に優しい降圧治療 - 時代は治療から予防へ - 東京大学医学部附属病院検査部 講師 下澤 達雄	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 第一三共(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 13回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ( 3 単位 ) ( CC 11,19,61,62,73,77)	10月 29日(土) 15 45~ 19 00 シーガイアコンベンションセンター 1,000円	高齢者の転倒予防とビタミンD 秋田大学整形外科学准教授 宮腰 尚久 大腿骨近位部骨折のトータルマネジメント - 骨折治療から続発骨折予防まで - 国立病院機構熊本医療センター 統括診療部長 野村 一俊 転移性脊椎腫瘍の診断と治療 日本大学医学部整形外科 主任教授 徳橋 泰明	共催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 中外製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
第 14回宮崎県眼科医会講習会 ( 3 単位 ) ( CC 36)	10月 29日(土) 16 30~ 19 30 ホテルJALシティ宮崎 3,000円 ( 開業医・勤務医 ) 2,000円 ( 公的医療機関勤務医 )	緑内障薬物療法update - 改正ガイドラインと展望 - 東京大学眼科学分野視覚矯正科 講師 相原 一	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 日本アルコン(株)
食後高血糖フォーラム 2011 in 宮崎 ( 1 単位 ) ( CC 76,82)	11月 4日(金) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	心血管イベント抑制 - 血糖平坦化を考慮した 2 型糖尿病の治療戦略 - 聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科教授 田中 逸	共催 宮崎県糖尿病懇話会 (株)三和科学研究所 ☎ 096-320-9660 大日本住友製薬(株) 後援 宮崎県内科医会
がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会 ( 3 単位 ) ( CC 5 ,7 ,10,15,80,84)	11月 5日(土) 15 00~ 18 00 県総合保健センター	がん疼痛治療の現状と今後の展望 - 新規薬剤と地域包括の観点から - ( 仮 ) 長崎市立市民病院麻酔科診療部長 緩和ケアチーム 富安 志郎 他	主催 厚生労働省 宮崎県 麻薬・覚せい剤乱用防止センター ☎ 03-3581-7436 後援 宮崎県医師会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県精神科診療 所協会学術講演会 ( 1 単位 ) (cc 6 ,70)	11月 5 日(土) 18 50~ 20 00 宮崎観光ホテル	自傷行為の理解と援助 - 故意に自分の健康を害する若者たち - 国立精神・神経医療研究センター精 神保健研究所自殺予防総合対策セン ター副センター長 松本 俊彦	共催 宮崎県精神科診療所協会 ヤンセンファーマ(株) (連絡先) ハートピア細見クリニック ☎ 0985-35-1100
「皮膚の日」講演会 ( 1.5 単位 ) (cc 1 ,2 ,9 )	11月 6 日(日) 14 00~ 15 30 宮日会館	慢性ヒ素中毒症 - 宮崎土呂久からアジアへ - 青木皮膚科 出盛 允啓	主催 宮崎県皮膚科医会 共催 日本臨床皮膚科医会 後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 NHK (連絡先) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) (cc 11,12,76,82)	11月 9 日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進セ ンター	(3)健康管理 職場における特定疾患( ) クリニックうしたに院長 牛谷 義秀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) (cc 1 ,6 ,11,12)	11月 17日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館( TV 会 議 : 都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸・西臼杵)	(3)健康管理 職場での行動変容指導 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研修 の後期研修会およ び生涯研修の専門 研修会4単位) (4単位) (cc 1,8,11, 17,30,31,45,51)	11月26日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV会 議:都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸)	(6)作業環境管理 有機溶剤について - 毒性の基礎的事項 -(仮) 佐賀大学医学部環境医学教授 市場 正良 (8)有害業務管理 有機溶剤について - 職場巡視での注意点や改善点 -(仮) 九州電力総括産業医 藤代 一也	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第35回宮崎大腸肛 門疾患研究会 がん検診(大腸) (1.5単位) (cc 53,54,55)	12月2日(金) 19 00~ 20 30 県医師会館	大腸肛門疾患総論 - 直腸癌の術前検査か ら女性特有の便秘まで - いきめ大腸肛門外科内科学長 柴田 直哉	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業(株) 天藤製薬(株) (連絡先) クリニックうしたに ☎ 0985-52-8080
第5回はまゆう整 形外科セミナー (1単位) (cc 1,61)	12月3日(土) 17 30~ 18 30 宮崎観光ホテル 1,000円	アメリカにおける膝関節靭帯再建術のト ピックス 宮崎大学医学部整形外科学助教 田島 卓也	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
第63回宮崎整形外 科懇話会 (1単位) (cc 19,57)	12月10日(土) 17 00~ 18 00 県医師会館 1,000円	治療に難渋する骨折 - その初期治療のポ イントとサルベージ対処法について - 香川県立中央病院整形外科主任部長 長野 博志	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎市郡外科医会 12月例会 (1単位) (cc 10,84)	12月12日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	宮崎県のpopulation based studyと産科 医療 宮崎大学医学部産婦人科学教授 鮫島 浩	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434

## お知らせ

宮崎県ドクターズテニス大会（都城）  
開催のお知らせ

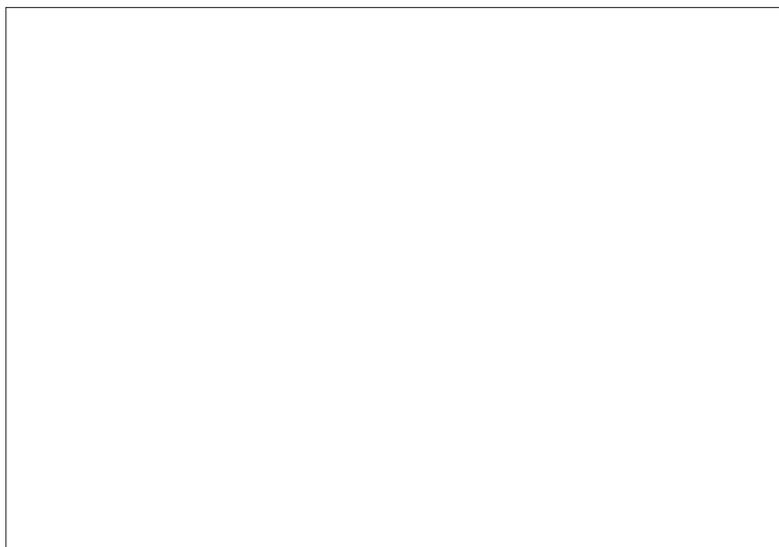
初秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、上記テニス大会を下記のとおり開催することとなりました。

万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い  
申し上げます。

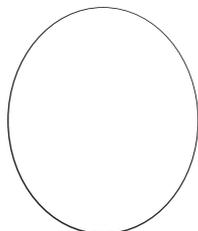
- |              |   |                                                                                 |
|--------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 日         | 時 | 平成23年10月23日(日) 午前10時開始                                                          |
| 2. 場         | 所 | クラブハウス イワキリ<br>〒885-0084 都城市五十町2375<br>五十市駅から徒歩5分<br>TEL 0986-26-3288           |
| 3. 参 加 費     |   | ドクター 4,000円<br>その他 2,000円                                                       |
| 4. 大 会 内 容   |   | 混合ダブルスなど                                                                        |
| 5. 申し込み・問合せ先 |   | すみ産婦人科<br>TEL 0986-23-1152<br>都城市郡医師会病院 森重<br>TEL 0986-39-2322 FAX 0986-39-1108 |

ご家族、従業員の参加も歓迎いたします。

準備の都合上、10月15日(土)までにお知らせください。



## 診療メモ



## 宮崎県の難聴児支援対策 - 難聴児の早期発見と早期療育事業について -

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 うし さこ やす あき  
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 牛 迫 泰 明

## はじめに

乳幼児期の難聴は大人の難聴と同じ障害ではない。言語発達が遅れるからである。言語発達の遅れはコミュニケーションに支障をきたし、さらに情緒や社会性の発達にも影響を及ぼす。そのため、難聴を早期に発見し、適切な治療やその後の支援を行うことで障害の広がりを最小限に抑えることが重要である。

一般に新生児の難聴発現頻度は1,000出生に1～2人と言われる。宮崎県下の年間出生児数は約11,000人なので、計算上は毎年新たに15人前後の難聴児が出現していることになる。

平成19年度、宮崎県下全小学校に在籍している68,000人の児童について難聴の有無を調査した。その結果、何らかの難聴があったのは19人(0.28%)であったが、コミュニケーションに不自由する両側性で中等度以上の難聴児童は73人(児童全体の0.106%)であり、県全体ではおおよそ1学年に10人強在籍していることが分かった。

私たちは、彼ら難聴児がよく聴きよく話すことができるようになることを診療の目標としている。彼らが成人した時にこの社会でみんなと共存共生していくことを願うからである。

その目標達成の一環として、平成2年9月から県下の医療、療育、行政の各機関の協力を得て難聴児の早期発見と早期療育への取り組みを行っている。ここでは、その共同事業の概要とこれまでの成果を中心に宮崎県における難聴児支援対策の一端を述べる。

## 宮崎県新生児聴覚検査事業の概要

本事業の目的は、新生児に対する聴覚検査の普及を図り、難聴の早期発見・治療と療育を実現し、同時に難聴児医療・療育体制の整備を行うことである。

図1に本事業の中心をなす難聴の早期発見と療育のためのフローチャートを示した。この検査システムでは、生後1か月までに産科で聴覚スクリーニング検査を行い、結果が「要再検査」であった場合は、県立病院ないしは大学病院耳鼻咽喉科で一次精密検査を行う。この結果で難聴が疑われる場合には、さらに大学病院耳鼻咽喉科で二次精密検査を実施し、難聴と診断されれば生後6か月までに療育を開始する。

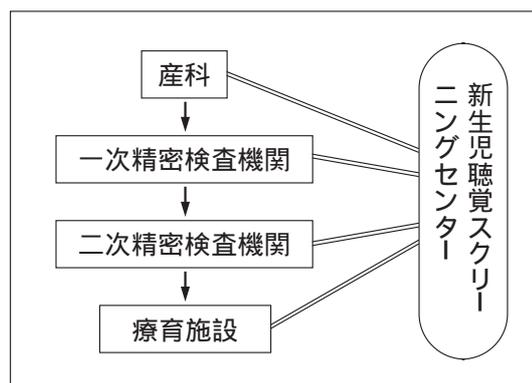


図1 新生児聴覚検査フローチャート

図1の中の新生児聴覚スクリーニングセンターは、検査システムを円滑に進め、状況把握を容易に行うために設置した。具体的には、産科から耳鼻咽喉科への精密検査依頼をとりまと

め、スクリーニング検査「要再検査」児が耳鼻咽喉科を受診するルートを案内したり、また、「要再検査」児の診断・治療および療育の状況などの経過についても長期追跡を行い、疫学的情報も合わせて、関係諸機関に対して情報提供を行う機関である。

宮崎県新生児聴覚検査事業、平成22年の成果

現在、県内の分娩を扱う産科医療機関の100%に新生児用聴覚検査機器が導入され、検査が実施されている。各県における検査機器の導入率は60~80%なので、本県における産科医療機関のご努力は特筆される。

平成22年1月から12月までの1年間に、各産科で新生児聴覚検査が実施された児数は、10,324人であり、これはこの間の全分娩児数11,884人の86.9%に当たる。目標はあくまでも全出生児に検査が行われることであるが、事業初年度としては極めて優れた成果であり、先進他県と比較しても全く遜色のない数字であった。この産科での聴覚検査で「要再検査」と判定された児は、56人(0.54%)であった。他県報告が1~5%の陽性率からすれば、不慣れな聴覚検査ながら適正に検査されていることを示した結果であった。平成22年については「要再検査」56人の全てが新生児聴覚スクリーニングセンターを介して大学病院耳鼻咽喉科に紹介され、精密聴力検査が行われた。最終的に難聴ありと確定診断された児は29人で、片側難聴が11人、両側難聴が18人であった。すなわち、言語発達に何らかの影響が及ぶ難聴は、新生児聴覚検査を受けた児の0.174%に発現していたことになる。

現在、片側難聴1人については言語発達に影響はないので経過観察だけであるが、両側難聴の18人については次のステップである療育機関、大学病院耳鼻咽喉科、難聴支援センターに紹介された。

大学病院耳鼻咽喉科、難聴支援センター

難聴支援センターは、難聴患者支援を目的に大学病院耳鼻咽喉科外来の一つのセクションと

して設置され、成人や小児の人工内耳、人工中耳そして補聴器の適合を行い、さらに難聴児を対象とした聴覚検査と療育を行っている。

平成22年に難聴が発見され、最終的にセンターに紹介された18人の難聴児は、中等度難聴が14人、高度難聴が1人、重度難聴が3人であり、現時点でそのうち8人に補聴器装用がなされ聴能・言語訓練が行われ、残り10人については治療と検査が継続している。

今後の展望、療育機関の整備

難聴児は多様である。知的障害や情緒障害が聴覚障害に重複している児もいれば、補聴器装用だけで音声言語獲得が可能な児、補聴器装用効果が乏しく、1歳6か月以降に人工内耳手術を必要とする児もいる。また、時には保護者の考えで手話や指文字といった視覚言語での療育を選択する児もいる。

耳鼻咽喉科難聴支援センターは、残存聴力や人工内耳を活用して音声言語の獲得を支援する療育機関である。そのため、県下には重複障害児を対象とした施設や視覚言語を主体とした言語訓練が可能な施設といった性格の異なる療育機関の整備が必要である。

今年度から、難聴支援センターと聴覚支援学校2校、それに宮崎市総合発達支援センターの各療育機関とで難聴児療育に関する整備協議会を立ち上げている。数年内には、関係者にとって特に障害児を持つ保護者に分かりやすく安心できる療育環境が整うと考えている。

おわりに

幼小児期の聴覚障害は重大な障害である。難聴の早期発見と療育が無事になされたとしても、小・中学校進学後には難聴が故の学習面や学校生活での新たな問題が発現する。今回ここに紹介した新生児聴覚検査事業は難聴児支援対策の一端である。さらに、学校を含めた社会全体の難聴児支援事業の整備が重要であると考えている。

## 宮大医学部学生のページ

### 〔宮崎大学学園祭〕第 7 回清花祭 ～期至快晴～

〔会場〕 宮崎大学 清武キャンパス・木花キャンパス

〔日時〕 平成 23 年 11 月 19 日(土)・20 日(日)

今年も上記のとおり学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年のスローガンは『期至快晴』です。これには、近年の日本は悲しくつらい出来事がつづくけれど、晴れ渡る空のように宮崎から明るく盛り上げていこう！という想いが込められています。

イベント・企画内容を一部ですが、ご紹介します。

#### みこし企画

今年の清花祭も、前日(11月18日)に神輿パレードを行う予定です。午後1時から栄町街区公園を出発し、デパートの前や県庁の前など、宮崎駅周辺を練り歩きます。今年も大学内の各団体が英知の限りを尽くしたユニークな神輿が選り取り見取りです。お時間のある方は是非、足を運んでください。

お医者さん・看護師さんになってみよう

医師や看護師が現場で行う検査や患者さんの介護などを、企画員の誘導のもとで実際にやっていただき、医師や看護師の視点・立場から医療を見てもらおうというものです。AED や血圧測定、車椅子体験、アルコールパッチテストなど、ぜひ体験してみてください。

#### 年齢企画

脳年齢・肌年齢・血管年齢・体力年齢をゲーム感覚で測定していただき、年齢を窓口にして自身の健康に興味・関心を持っていただくことが目的の企画です。

#### Café de aroma

医療とアロマセラピーに関する展示やアロマオイルを用いたハンドマッサージやハーブティーなど、アロマを身近に感じてもらえる癒しの空間を提供します。

患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち

今年で13年目となる本企画は、患者さん・看護師・医師など医療に関わる多くの人々の『本当は伝えなかったのに伝えられなかった思い(心の声)』を募集し集まった作品を作品集として冊子にまとめ無料配布する他、清花祭当日に一部を展示します。医療に関わる人々の相互理解が深まることと、よりよい医療の実践を目指しています。

#### こども企画

学園祭に遊びに来てくれた子どもたちを集めて、企画員と一緒にゲームをしたり歌を歌ったりして地域の子どもたちとの交流を深める、楽しい企画です。

## 宮崎大学清花祭特別講演会

## 「あれから半年，今振り返る東日本大震災」

基調講演「世界初トリプル災害の下での医療の混乱と再生」

講師 及川友好 先生(南相馬市立総合病院副院長)

トークライブ「never give up ~私たち一人ひとりにできることを~」

松本隆博 氏

(ダウンタウン松本人志の実兄。シンガーソングライター，社会貢献的エンターティナー。  
東日本大震災後は，被災地でのチャリティーライブなどの活動を行っている)

上記講演のほかに，「いま，被災地で求められているのは何か」「宮崎で同様の災害が起こったら」をテーマに及川先生含む4人の講師の先生を招いてのパネルディスカッションを予定しております。詳細は10月1日以降にホームページでご確認ください。

日 時 2011年 11月 3日(木・祝)  
開演 13:00 閉演 16:30(予定)

会 場 清武町文化会館 半九ホール

主 催 宮崎大学清花祭清武キャンパス  
実行委員会

共 催 清武町文化会館

後 援 宮崎大学医学部後援会

料 金 参加無料

## 応募方法

住所・氏名・年齢・電話番号・観覧希望人数をご明記の上，下記のいずれかの方法でお申し込みください。  
チケットをご住所まで送付いたします。

はがき：〒889-160宮崎県宮崎市清武町木原5200 清花祭実行委員会  
清花祭公式ホームページ：<http://www.kiyokasai.com>

なお，応募多数の場合は先着順とさせていただきます，発送をもって当選発表にかえさせていただきます。

【お問い合わせ】宮崎大学清花祭特別講演会企画

企画責任者 山下 ☎ 090-8629-4660

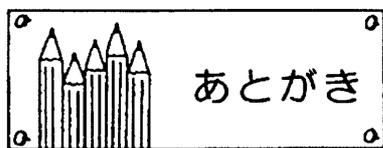
✉ [so.yama81@gmail.com](mailto:so.yama81@gmail.com)

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。

送付日	文 書 名
8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型インフルエンザ対策行動計画」(改定案)に対する意見募集(パブリックコメント)について</li> <li>・成長分野等人材育成支援事業の拡充について</li> </ul>
8月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザワクチンの安定供給対策について</li> <li>・インフルエンザ入院サーベイランスについて</li> <li>・破傷風発生届(死亡事例)について</li> </ul>
8月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期からの妊娠・出産・子育て等に係る相談体制等の整備について</li> <li>・妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に係る保健・医療・福祉の連携体制の整備について</li> </ul>
8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(基本方針)第八に定める血液製剤代替医薬品」の取扱いについて</li> <li>・医療機関、薬局及び保険者における診療報酬明細書(レセプト)等の個人情報の適切な取扱いについて</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> </ul>
8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度医療に関する税制改正要望について</li> </ul>
9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠動脈ステントに係る使用上の注意の改訂等について(通知)</li> <li>・眼内レンズに係る使用上の注意の改訂等について(通知)</li> </ul>
9月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に係る実施要領の一部改正について</li> <li>・医薬部外品又は化粧品の使用による健康被害の報告について及び医薬部外品又は化粧品にかかる研究報告について</li> <li>・医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用について(周知依頼)</li> <li>・医薬品・医療機器等安全性情報第28号の速報について</li> </ul>
9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全に関するワークショップの開催について(通知)</li> <li>・九州厚生局宮崎事務所長に対する保険医療機関への受給資格確認の徹底依頼について</li> </ul>

送付日	文 書 名
9月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関における医療用麻薬及び向精神薬の適正使用及び管理の徹底について</li> <li>・第8回九州ブロックエイズ拠点病院出張研修会について(依頼)</li> </ul>
9月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治癒切除不能な膵癌を適応とするエルロチニブ塩酸塩製剤の使用にあたっての留意事項について</li> <li>・ダブトマイシン製剤の使用にあたっての留意事項について</li> <li>・アジスロマイシン製剤の使用にあたっての留意事項について</li> </ul>
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「救急救命士の気管内チューブによる気道確保の実施に係るメディカルコントロール体制の充実強化について」等の一部改正について</li> <li>・国民年金・厚生年金保険障害認定基準の一部改正及び一部改正に伴う診断書の様式変更等について</li> </ul>
9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」(平成24年1月14日～15日)の開催について</li> </ul>
9月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・抗血小板剤及びタクサス エレメント スtentシステムの適正使用について</li> <li>・新潟県及び福島県各地における大雨による被災に関する診療報酬の請求等の取扱い等について</li> <li>・平成23年台風12号による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・医薬部外品又は化粧品にかかる研究報告に関する質疑応答集(Q &amp; A)について</li> </ul>
9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年台風12号に関する診療報酬等の請求の取扱いについて</li> <li>・東日本大震災に関連する診療報酬の取扱いについて</li> <li>・歯科口腔保健の推進に関する法律の施行について(通知)</li> </ul>
9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県・郡市区医師会が特定健康診査・特定保健指導機関の請求の事務代行等を行う場合の取扱いについて(社会保険診療報酬支払基金通知のとりまとめ)</li> <li>・フィブリノゲン製剤投与に係る診療録等の精査のお願いについて</li> <li>・季節性インフルエンザワクチンの供給の遅延について</li> </ul>
9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について</li> </ul>
9月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線に関する研修会の共催について</li> </ul>



大学に入学したばかりの時、連絡先を記入する欄に携帯電話番号を書くと、「家の固定電話番号を書いて下さい」と言われました。13年前というと、まだ学生が携帯を持つことは一般的ではなかったと思います。あつという間に携帯電話が普及して、持つことが当たり前になり、さらに今では「携帯電話」ではなく「スマホ」の時代です。自分でスマートフォンを持つてみる

と、まさに小さなパソコン。携帯電話の時よりはるかにポケットに入れている時間が長いと思います。薬剤の添付文書や医学大辞典などのアプリも揃っていて、さらに持ち歩きたい資料やマニュアルなどはファイルにして保存すればいつでも開けます。個人的にはポイントを貯めながら買い物ができるお財布機能をよく使いますが、WiFi通信の環境も広がっていて、電子書籍を読むなどスマホがあれば暇つぶしも充実したものです。大学病院では既にスマートフォンが導入されていて、患者確認はバーコードをカメラで読み取り、パソコンの前に座らなくても処置や注射の実施入力ができるようになっていきます。まだ通話の機能はありませんが、近いうちに院内のPHSに代わってスマホが支給されるとも聞いています。目覚まし時計の代わりにアラームで起床して、人によってはスケジュール管理もスマホ、私の場合は帰ったらレシピの画面を開きながら料理して...と一日中手放せません。自分は依存症ではなからうかと思うこともありますが、皆さんいかがでしょうか。(彦坂)

東京や大阪に行くと、スマートフォンで乗換案内アプリを使います。通常とても役に立ちますが、特に到着時間を前提とした過信は禁物です。先日、半日でさいたま市から府中市、川崎市、柏市と廻って羽田空港へというルートを、ほぼ思いつきで計画。完璧と思いきや、不覚にも2回も乗り越しをしてしまい、時間を大きくロス！最後の目的地では1時間の予定が15分しか残っていませんでした。なじみの無い駅を上手く乗り換えるのはそれなりにストレスがあり、指示通り乗っていれば目的地に着くという(脳を使わない)旅行計画は...やっぱり考えものです。(和田)

新たな趣味として始めた筋トレが生活の一部となりつつある今日この頃。続けた甲斐あって成果は着々と結実しつつあります。食事やメソッド(手法)は科学的根拠に基づいており、整形外科医としての趣味と実益を兼ねてまさに好都合。体調も良く健康的な毎日ですが、心地よい疲労感と充実感、それに伴う気の緩みが「お夜食とアルコール」の世界へと誘います。気になる私のお腹を驚嘆みにしようとする娘の視線にも注意が必要ですが、追い討ちをかけるような「酒飲み」という嫁のひと言...。またダイエット始めようかな...。(尾田)

私事ですが、当クリニックでは10月下旬から電子カルテに移行予定です。開院して6年間、紙カルテで運用してきましたが、そろそろ限界を感じていました。今年春から機種選定を開始し、電子カルテの使い勝手が案外良くなっていることを認識しました。耳鼻咽喉科の外来では、宿命的に多くの患者さんを診察しなければなりません。そのためには過去のデータを閲覧しやすいこと、所見や処置、処方などを短時間で入力することが重要です。今回導入の電子カルテはその点は、ほぼ満足できるものになっています。しかし心配な点は、メーカーサポートの継続

性でしょう。5年後は全く予想できない業界ですから...。(坪井)

ポリクリが始まってからもう半年です。実際に様々な科を回り、それぞれの魅力を改めて感じる今日この頃です。現在は麻酔科ですが、年齢・体格・循環動態・病名・術式・術中管理全てが患者によって異なるため、各々にとって最適な麻酔様式を選択していく、医師個人の力量が試される科の一つだと思いました。また麻酔科は生理学・薬理学が基本であり、基礎で留年の恐怖と闘いながら学んだ知識が臨床にダイレクトに生かせる科だなとも思いました。(川崎)

今年の夏は何をしたかと振り返る。「嵐の中のバーベキュー」が一つ印象に残っている。友達と、バーベキューを予定。嵐が日本に接近中との予報を無視して当日決行。火を起こす段階から、雨風に襲われ、消えそうな火のもとで肉を焼く。キャベツは風にあおられ、網からすべて落ちてしまう。疲労困ぱいで食事を終え、なんとかテントへ。そこで飲むココアが身に沁みわたる。ろうそくの火を囲んで夜通し語り明かす。大学時代の少し無茶した思い出。皆さんは、そういった思い出はありますか？(前田)

誰の責任か 90兆を超す借金があり、また国際的な景気低迷と円高不況にも襲われている日本。その中でおこった東日本大震災。大手のメディア各社によると増税やむなしの声が増えていると世論を誘導する報道が盛んだ。今こそ増税ではなく埋蔵金の取り崩しが必要である。埋蔵金は結局なかったと報じられているが、実は立派に存在している。日本の底力とも言える特別会計だ。10兆単位の無駄金である。法改正を伴う事項であり、危急存亡の今こそ政治家の腕の見せ所であろう。(済陽)

## 今月のトピックス

### 日州医談 産業保健活動の現状とこれから

日医認定産業医制度事業を積極的に推進する宮崎県医師会の地域産業保健事業への関わりを、行政刷新会議による事業仕分けの結果から委託費の減額を余儀なくされた産業保健活動の現状と今後の展望について、矢野裕士理事に解説していただきました。

4ページ

### 寄稿 東日本大震災の活動報告

宮崎県医師会 JM A T が支援活動を行った宮城県宮城郡七ヶ浜町の開業医である鹿島哲医師からの寄稿です。大震災直後の開業医の生々しい現状をまとめておられます。貴重なレポートですので是非ご一読ください。

10ページ

### 診療メモ 宮崎県の難聴児支援対策 - 難聴児の早期発見と早期療育事業について -

言語発達の遅延からコミュニケーションへの支障、情緒や社会性の発達にも影響を及ぼす幼小児期の難聴の問題点とその多様性について、宮崎県における難聴児支援対策の一端を紹介しつつ、牛迫泰明先生がわかり易く解説していただきました。

74ページ

日 州 医 事 第746号(平成23年10月号)(毎月1回10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 和田 俊朗・副委員長 尾田 朋樹

委 員 下 薊 孝司, 上野 満, 黒川 基樹, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子  
坪井 康浩, 田坂 裕保, 彦坂ともみ, 川崎真由美, 前田 雄洋

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 35円(但し, 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)